

平成 17 年度

当初予算資料

1	会計別予算	P	1
2	会計別予算（楠町合算分）	P	2
3	一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	3
4	歳入の主な増減	P	4
5	一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	5
6	歳出の主な増減	P	6
7	一般会計歳入歳出予算（楠町合算分）	P	7
8	一般会計歳出予算（部局別）	P	9
9	各部局当初予算説明資料	P	10
	市長公室	P	10
	総務部	P	13
	財政部	P	16
	市民部	P	18
	楠町総合支所	P	20
	保健福祉部	P	22
	商工農水部	P	26
	環境部	P	32
	都市整備部	P	35
	下水道部	P	39
	市立四日市病院	P	41
	収入役室	P	42
	議事務局	P	43
	監査事務局	P	44
	教育委員会	P	45
	消防本部	P	50
	水道局	P	52
10	主な事業の見直し調書	P	53
	（1）減額したもの	P	53
	（2）増額したもの	P	60
11	資料編	P	68

平成 17 年 度 会 計 別 予 算

(単位 千円)

区 分	平成17年度 予算額(A)	平成16年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	
一 般 会 計	93,290,000	95,980,000 (89,886,300)	2,690,000 (3,403,700)	97.2 (103.8)	
特 別 会 計	競 輪 事 業	15,524,900	16,052,400	527,500	96.7
	国 民 健 康 保 険	22,735,700	22,133,800	601,900	102.7
	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場	507,200	473,700	33,500	107.1
	土 地 区 画 整 理 事 業	1,338,100	1,653,000	314,900	80.9
	交 通 災 害 共 済 事 業	173,400	177,100	3,700	97.9
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	70,000	79,300	9,300	88.3
	老 人 保 健 医 療	20,191,900	19,171,300	1,020,600	105.3
	公 共 用 地 取 得 事 業	3,572,100	1,245,200	2,326,900	286.9
	農 業 集 落 排 水 事 業	502,000	577,400	75,400	86.9
	介 護 保 険	13,483,600	11,618,000	1,865,600	116.1
	計	78,098,900	73,181,200	4,917,700	106.7
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	11,096,590	11,554,658	458,068	96.0
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	16,409,676	16,379,632	30,044	100.2
	下 水 道 事 業	22,736,949	22,757,651	20,702	99.9
	計	50,243,215	50,691,941	448,726	99.1
桜 財 産 区	27,000	21,500	5,500	125.6	
合 計	221,659,115	219,874,641 (213,780,941)	1,784,474 (7,878,174)	100.8 (103.7)	

() 書きは、平成 7、8年度分の減税補てん債借換分 6,093,700千円を除いて再掲したもの

楠町合算分

平成17年度会計別予算

(単位 千円)

区 分 会 計 名		平成17年度	平成16年度	差引増減額	(A)
		予算額(A)	予算額(B)	(A) - (B)	— × 100(%) (B)
一 般 会 計		93,290,000	100,286,649 (93,982,549)	6,996,649 (692,549)	93.0 (99.3)
特 別 会 計	競 輪 事 業	15,524,900	16,052,400	527,500	96.7
	国 民 健 康 保 険	22,735,700	23,057,883	322,183	98.6
	食肉センター食肉市場	507,200	473,700	33,500	107.1
	土 地 区 画 整 理 事 業	1,338,100	1,653,000	314,900	80.9
	交 通 災 害 共 済 事 業	173,400	177,100	3,700	97.9
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	70,000	79,300	9,300	88.3
	老 人 保 健 医 療	20,191,900	20,010,521	181,379	100.9
	公 共 用 地 取 得 事 業	3,572,100	1,245,200	2,326,900	286.9
	農 業 集 落 排 水 事 業	502,000	577,400	75,400	86.9
	介 護 保 険	13,483,600	12,131,035	1,352,565	111.1
	下 水 道 事 業	0	872,146	872,146	皆減
	計	78,098,900	76,329,685	1,769,215	102.3
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	11,096,590	12,018,404	921,814	92.3
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	16,409,676	16,379,632	30,044	100.2
	下 水 道 事 業	22,736,949	22,757,651	20,702	99.9
	計	50,243,215	51,155,687	912,472	98.2
桜 財 産 区		27,000	21,500	5,500	125.6
合 計		221,659,115	227,793,521 (221,489,421)	6,134,406 (169,694)	97.3 (100.1)

()書きは、平成17、18年度分の減税補てん債借換分 四日市6,093,700千円、楠210,400千円を除いて再掲したもの

平成17年度一般会計歳入歳出予算(歳入)

(単位 千円)

区分 款別	平成17年度 予算額(A)	平成16年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)	構成比率(%)	
					平成17年度	平成16年度
市 税	50,395,300	48,305,000	2,090,300	104.3	54.0	50.3 (53.7)
2. 地方譲与税	2,496,000	1,870,000	626,000	133.5	2.7	1.9 (2.1)
3. 利子割交付金	207,000	400,000	193,000	51.8	0.2	0.4 (0.5)
4. 配当割交付金	125,000	26,000	99,000	480.8	0.1	0.0 (0.0)
5. 株式等譲渡所得割交付金	16,000	15,000	1,000	106.7	0.0	0.0 (0.0)
6. 地方消費税交付金	2,885,000	2,980,000	95,000	96.8	3.1	3.1 (3.3)
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1 (0.1)
8. 自動車取得税交付金	729,000	670,000	59,000	108.8	0.8	0.7 (0.8)
9. 地方特例交付金	1,779,700	1,596,000	183,700	111.5	1.9	1.7 (1.8)
10. 地方交付税	3,747,600	4,600,000	852,400	81.5	4.0	4.8 (5.1)
うち普通交付税	2,760,000	3,700,000	940,000	74.6	3.0	3.9 (4.1)
11. 交通安全対策特別交付金	71,600	70,000	1,600	102.3	0.1	0.1 (0.1)
分担金及び負担金	1,201,960	1,152,997	48,963	104.2	1.3	1.2 (1.3)
使用料及び手数料	2,373,970	2,194,526	179,444	108.2	2.5	2.3 (2.4)
14. 国庫支出金	9,406,878	9,195,752	211,126	102.3	10.1	9.6 (10.2)
15. 県支出金	4,046,839	3,151,263	895,576	128.4	4.3	3.3 (3.5)
財産収入	330,079	83,787	246,292	394.0	0.4	0.1 (0.1)
寄附金	10,111	10,204	93	99.1	0.0	0.0 (0.0)
繰入金	417,872	1,509,868	1,091,996	27.7	0.5	1.6 (1.7)
繰越金	750,129	650,129	100,000	115.4	0.8	0.7 (0.7)
諸収入	3,427,462	4,036,274	608,812	84.9	3.7	4.2 (4.5)
21. 市 債	8,782,500	13,373,200 (7,279,500)	4,590,700 (1,503,000)	65.7 (120.6)	9.4	13.9 (8.1)
うち減税補てん債	693,900	659,100	34,800	105.3	0.7	0.7 (0.7)
うち臨時財政対策債	2,884,200	3,790,000	905,800	76.1	3.1	3.9 (4.2)
うち借換債	0	6,093,700	6,093,700	皆減	0.0	6.3 (6.8)
歳入合計	93,290,000	95,980,000 (89,886,300)	2,690,000 (3,403,700)	97.2 (103.8)	100.0	100.0 (100.0)

付数字は自主財源

()書きは、借換債(平成7、8年度分の減税補てん債借換分 6,093,700千円)を除いて再掲したもの

【款別の主な増減(歳入)】		(単位:千円)		
	H16	H17	差引額	
負担金				
保育所負担金	1,080,037	1,121,338	(41,301)	
使用料及び手数料				
ごみ処理手数料	409,000	532,064	(123,064)	
国庫支出金				
老人保護費負担金	104,086	0	(104,086)	
国民健康保険保険基盤安定負担金	511,834	0	(511,834)	
生活保護費負担金	3,273,172	3,448,950	(175,778)	
義務教育施設整備費負担金	0	382,885	(382,885)	
合併市町村補助金	0	200,000	(200,000)	
公営住宅建設事業費補助金	467,495	248,662	(218,833)	
要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金	39,997	691	(39,306)	
義務教育施設整備費補助金	137,246	419,356	(282,110)	
県支出金				
国民健康保険保険基盤安定負担金	255,917	881,956	(626,039)	
市町村合併支援交付金	0	50,000	(50,000)	
下水処理施設周辺環境整備補助金	0	107,600	(107,600)	
木造住宅耐震診断事業費補助金	67,500	22,500	(45,000)	
病院群輪番制病院運営費補助金	12,664	0	(12,664)	
緊急雇用創出市町村等補助金	117,721	0	(117,721)	
団体営農業集落排水整備支援事業費補助金	7,166	30,360	(23,194)	
海岸保全事業費補助金	9,000	57,600	(48,600)	
漁港漁場機能高度化事業費補助金	0	69,750	(69,750)	
参議院議員選挙費委託金	81,606	0	(81,606)	
指定統計調査費委託金	28,895	159,839	(130,944)	
財産収入				
市有地売却収入	45,000	299,111	(254,111)	
繰入金				
財政調整基金繰入金	1,445,000	180,000	(1,265,000)	
楠ふれあいセンター整備基金繰入金	0	186,626	(186,626)	
繰越金				
一般繰越金	650,000	750,000	(100,000)	
諸収入				
勤労者住宅支援資金融資貸付金元利収入	366,403	199,373	(167,030)	
競輪事業特別会計繰入金	300,000	20,000	(280,000)	
公害健康被害補償給付費納付金	755,162	779,952	(24,790)	
ごみ処理料	69,750	102,690	(32,940)	
楠、朝日、川越三町消防事務受託費(二町)	339,263	227,587	(111,676)	
災害共済給付金	0	33,396	(33,396)	
市債				
合併特例債	0	1,805,100	(1,805,100)	
地域再生事業債	0	185,000	(185,000)	
減税補てん債	659,100	693,900	(34,800)	
臨時財政対策債	3,790,000	2,884,200	(905,800)	
借換債	6,093,700	0	(6,093,700)	
まちづくり事業債	0	313,500	(313,500)	

平成17年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成17年度	平成16年度	差引増減額	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率(%)	
	予算額(A)	予算額(B)	(A) - (B)		平成17年度	平成16年度
1. 議会費	837,164	640,706	196,458	130.7	0.9	0.7 (0.7)
2. 総務費	10,780,348	10,125,620	654,728	106.5	11.5	10.5 (11.3)
3. 民生費	23,199,068	21,767,904	1,431,164	106.6	24.9	22.7 (24.2)
4. 衛生費	8,448,311	8,228,186	220,125	102.7	9.1	8.6 (9.2)
5. 労働費	73,863	79,322	5,459	93.1	0.1	0.1 (0.1)
6. 農林水産業費	2,037,839	1,793,331	244,508	113.6	2.2	1.9 (2.0)
7. 商工費	2,253,786	2,459,877	206,091	91.6	2.4	2.6 (2.7)
8. 土木費	19,185,463	19,635,571	450,108	97.7	20.6	20.4 (21.8)
9. 消防費	3,154,552	3,454,248	299,696	91.3	3.4	3.6 (3.8)
10. 教育費	10,486,096	9,145,744	1,340,352	114.7	11.2	9.5 (10.2)
11. 公債費	12,733,510	18,557,091 (12,463,391)	5,823,581 (270,119)	68.6 (102.2)	13.6	19.3 (13.9)
12. 予備費	100,000	92,400	7,600	108.2	0.1	0.1 (0.1)
歳出合計	93,290,000	95,980,000 (89,886,300)	2,690,000 (3,403,700)	97.2 (103.8)	100.0	100.0 (100.0)

()書きは、平成7、8年度分の減税補てん債借換分 6,093,700千円を除いて再掲したもの

【款別の主な増減(歳出)】		(単位:千円)	
	H16	H17	差引額
議会費			
議員報酬等	390,953	561,721	(170,768)
総務費			
退職手当	2,009,000	1,290,000	(719,000)
庁舎等整備事業費	2,965	31,200	(28,235)
システム関連経費	1,305,212	995,697	(309,515)
楠ふれあいセンター整備事業費	0	359,700	(359,700)
まちづくり事業基金積立金	0	330,000	(330,000)
指定統計調査員報酬	23,961	132,116	(108,155)
民生費			
老人保健医療特別会計繰出金	915,615	1,095,941	(180,326)
生活保護費(扶助費)	4,364,230	4,598,600	(234,370)
国民健康保険特別会計繰出金	1,482,798	1,938,035	(455,237)
介護保険特別会計繰出金	1,802,936	2,047,869	(244,933)
衛生費			
ごみ処理施設管理運営費	63,974	117,679	(53,705)
清掃工場管理運営費	658,412	787,664	(129,252)
埋立処分場管理運営費	93,642	205,540	(111,898)
病院事業繰出金	983,154	858,388	(124,766)
農林水産業費			
北勢公設地方卸売市場組合施設整備事務受託事業費	50,500	129,667	(79,167)
磯津漁港海岸保全事業費	10,000	62,455	(52,455)
商工費			
企業立地奨励金交付事業費	430,000	442,000	(12,000)
民間研究所立地奨励金等交付事業費	150,000	90,000	(60,000)
中心市街地活性化促進奨励金交付事業費	100,000	0	(100,000)
近鉄四日市駅西開発整備事業	0	106,037	(106,037)
土木費			
道路新設改良費	1,501,082	1,012,272	(488,810)
街路事業費	1,563,617	1,694,090	(130,473)
橋梁新設改良費	103,000	170,000	(67,000)
四日市港管理組合負担金	1,467,459	1,673,040	(205,581)
土地区画整理事業特別会計繰出金	1,163,522	905,304	(258,218)
下水道事業繰出金	8,502,912	8,497,880	(5,032)
大瀬古新町市営住宅建設事業費	976,630	518,300	(458,330)
消防費			
退職手当	237,000	56,000	(181,000)
消防車両購入費	270,800	87,700	(183,100)
教育費			
学校図書館いきいき推進事業費	0	50,000	(50,000)
教育振興一般経費(小学校)	47,022	120,394	(73,372)
PFI学校施設整備費(小・中学校)	0	1,976,818	(1,976,818)
耐震補強事業費(小・中学校)	492,367	297,400	(194,967)
中央緑地運動施設整備事業費	7,000	288,000	(281,000)
公債費			
地方債元金償還金	15,873,505	10,291,631	(5,581,874)
うち平成7、8年度分の減税補てん債借換分	6,093,700	0	(6,093,700)
地方債利子	2,682,586	2,440,879	(241,707)

楠町合算分

平成17年度一般会計歳入歳出予算(歳入)

(単位 千円)

款名	H17	H16	増減額	対前年比
市税	50,395,300	49,662,664	732,636	(1.5%)
地方譲与税	2,496,000	1,932,406	563,594	(29.2%)
利子割交付金	207,000	413,000	206,000	(49.9%)
配当割交付金	125,000	26,900	98,100	(364.7%)
株式等譲渡所得割交付金	16,000	15,500	500	(3.2%)
地方消費税交付金	2,885,000	3,070,000	185,000	(6.0%)
ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	(0.0%)
自動車取得税交付金	729,000	698,000	31,000	(4.4%)
地方特例交付金	1,779,700	1,636,000	143,700	(8.8%)
地方交付税	3,747,600	5,387,740	1,640,140	(30.4%)
交通安全対策特別交付金	71,600	71,600	0	(0.0%)
分担金及び負担金	1,201,960	1,203,418	1,458	(0.1%)
使用料及び手数料	2,373,970	2,254,571	119,399	(5.3%)
国庫支出金	9,406,878	9,375,817	31,061	(0.3%)
県支出金	4,046,839	3,702,714	344,125	(9.3%)
財産収入	330,079	94,425	235,654	(249.6%)
寄附金	10,111	11,735	1,624	(13.8%)
繰入金	417,872	1,896,327	1,478,455	(78.0%)
繰越金	750,129	750,129	0	(0.0%)
諸収入	3,427,462	4,106,803	679,341	(16.5%)
市債	8,782,500	13,886,900 (7,582,800)	5,104,400 (1,199,700)	(36.8%) (15.8%)
会計合計	93,290,000	100,286,649 (93,982,549)	6,996,649 (692,549)	(7.0%) (0.7%)

楠町合算分

平成17年度一般会計歳入歳出予算(歳出)

(単位 千円)

款名	H17	H16	増減額	対前年比	構成比	
					H17	H16
議会費	837,164	735,008	102,156	(13.9%)	0.9%	0.7% (0.8%)
総務費	10,780,348	10,621,092	159,256	(1.5%)	11.5%	10.6% (11.3%)
民生費	23,199,068	22,688,226	510,842	(2.3%)	24.9%	22.6% (24.2%)
衛生費	8,448,311	8,587,300	138,989	(1.6%)	9.1%	8.6% (9.1%)
労働費	73,863	79,322	5,459	(6.9%)	0.1%	0.1% (0.1%)
農林水産業費	2,037,839	2,013,310	24,529	(1.2%)	2.2%	2.0% (2.1%)
商工費	2,253,786	2,477,874	224,088	(9.0%)	2.4%	2.5% (2.6%)
土木費	19,185,463	20,400,987	1,215,524	(6.0%)	20.6%	20.4% (21.7%)
消防費	3,154,552	3,647,801	493,249	(13.5%)	3.4%	3.6% (3.9%)
教育費	10,486,096	9,664,027	822,069	(8.5%)	11.2%	9.6% (10.3%)
公債費	12,733,510	19,177,969 (12,873,869)	6,444,459 (140,359)	(33.6%) (1.1%)	13.6%	19.1% (13.7%)
予備費	100,000	139,040	39,040	(28.1%)	0.1%	0.1% (0.1%)
諸支出金		53,693	53,693	皆減	0.0%	0.1% (0.1%)
災害復旧費		1,000	1,000	皆減	0.0%	0.0% (0.0%)
会計合計	93,290,000	100,286,649 (93,982,549)	6,996,649 (692,549)	(7.0%) (0.7%)	100.0%	100.0% (100.0%)

平成16年度予算額中、楠町分は4,306,649千円

()書きは、平成7、8年度分の減税補てん債借換分四日市6,093,700千円、楠210,400千円を除いて再掲したもの

一般会計歳出予算【部局別】

(単位:千円、%)

区分 部 局	17年度当初 A	16年度当初 B	増減額 A - B C	伸率 C / B	
市長公室	3,097,904	3,122,534	24,630	0.8	
総務部	5,582,805	5,710,379	127,574	2.2	
財政部	14,341,742	20,005,603	5,663,861	28.3	
市民部	3,128,688	2,646,558	482,130	18.2	
保健福祉部	22,939,006	21,845,114	1,093,892	5.0	
商工農水部	4,365,488	4,332,530	32,958	0.8	
環境部	5,882,443	5,599,494	282,949	5.1	
都市整備部	9,001,051	9,641,754	640,703	6.6	
収入役室	16,369	18,219	1,850	10.2	
議会事務局	837,164	640,706	196,458	30.7	
選挙管理委員会	38,058	240,989	202,931	84.2	
監査事務局	93,299	92,946	353	0.4	
教育委員会	10,877,923	9,145,744	1,732,179	18.9	
消防本部	3,141,077	3,450,664	309,587	9.0	
楠総合支所	590,715	0	590,715	皆 増	
企業補助費等 企業会計に対する	水道局	0	699	699	皆 減
	市立四日市病院	858,388	983,155	124,767	12.7
	下水道部	8,497,880	8,502,912	5,032	0.1
合 計	93,290,000	95,980,000	2,690,000	2.8	

市長公室

新年度予算における基本的な方針

平成16年度からスタートした行政経営戦略プランの着実な推進を図るとともに、より市民満足度を向上させる政策形成に努める。

また、地方分権時代において自立したまちづくりを推進するため、楠町との合併により、中核市となる要件を満たすことになったことから、平成19年4月の中核市移行を目指し、新たに組織強化を図るとともに関係機関との調整などの取組みを進める。

さらに、昨年度に開設した国際共生サロンを拠点として在住外国人との共生事業の充実を図るとともに天津市との友好都市提携25周年にあたることから、多くの市民が参加できる記念イベントを実施する。

情報化の推進では、平成16年度からの継続事業として住民情報システムの再構築を行い、行政手続の電子化への対応を図る。

1. 総合計画の推進について

楠町との合併にかかる新市建設計画の着実な推進を図るため、平成18年度に向け行政経営戦略プラン(政策プラン)のローリングを行うとともに、中核市への移行も視野に入れた新しい総合計画のあり方について検討を行う。

また、本市が抱える政策課題について、四日市大学との共同研究や庁内研究会、政策推進監会議等により調査研究を行う。

【主な事業】 総合計画推進事業 当初予算額 4,000千円

2. 中核市移行について

平成19年4月の中核市移行を目指し、「県と市町村の新しい関係づくり協議会」の部会として、県市で平成16年10月に設置した「中核市移行準備検討部会」を中心として、県の関係部局との協議を進めるとともに、国との連絡調整を行う。また、中核市について市民の理解を得られるよう努めていく。

【主な事業】 中核市移行推進事業 当初予算額 1,000千円

3. 四日市港の整備促進について

霞ヶ浦北埠頭において、-14m岸壁、泊地及び背後地等の整備を促進し、国際海上コンテナターミナルの供用を開始するとともに霞4号幹線の整備を促進する。また、国際条約にもとづくテロ対策のための保安施設の管理運営を行い、中枢国際港湾として一層の機能の充実を図る。さらに四日市地区 10m岸壁補強、護岸補強及び富双

緑地の整備促進など港湾施設の充実に努める。

【主な事業】 四日市港管理組合負担金 当初予算額 1,673,040千円

4. 広報施策について

市民と情報を共有するために、様々な市政情報をタイムリーに分かりやすく提供する。そのために広報紙をはじめケーブルテレビ、インターネット、ラジオ等の各種広報媒体の特性を生かしたきめ細かな情報提供に努める。

【主な事業】 広報刊行物発行事業 当初予算額 64,405千円
情報発信事業 当初予算額 28,502千円

5. 在住外国人との共生推進について

市内に急増している在住外国人との共生を推進するために、国際交流協会と連携し、昨年開設した国際共生サロンを拠点に、市民ボランティアと協働して、日本語講座や生活相談、イベント等を実施する。また、外国人集住都市会議の座長都市として、他都市と連携しながら、多文化共生に係る課題の解決に向けた取組みを行う。

【主な事業】 在住外国人共生推進事業 当初予算額 6,774千円
外国人集住都市会議 当初予算額 650千円
四日市国際交流協会への補助金 当初予算額 16,700千円

6. 国際化の推進について

姉妹・友好都市との交流事業では、天津市との友好都市提携25周年を迎え、実行委員会のもと、音楽を中心とした文化交流や市民・中学生の訪中団派遣等、市民参加型の記念事業を実施するほか、代表団、環境研修員や交換学生・教師（トリオ）等の受け入れを行う。

【主な事業】 姉妹友好都市交流事業 当初予算額 29,831千円

7. 情報化の推進について

住民情報システムの再構築を平成16年度に着手しているが、引き続き平成18年度を最終年度として事業を進める。新システムの導入により、電子申請・届書等行政手続きの電子化への対応、及びパッケージソフトの導入と徹底したアウトソーシングにより保守経費の削減を図る。

市民サービスのIT化では、GIS（地理情報システム）や情報提供システムを活用して迅速かつわかりやすい情報提供を推進する。電子申請システムをはじめとした市民サービスに直結する大規模システムについては、事業実施の枠組みを北勢広域共同から県下市町村共同に拡大し、システム導入に向けた準備を進める。

【主な事業】 情報化推進事業費423,067千円の内

新住民情報関連システムの構築	当初予算額	328,000千円
電子自治体構築事業費等	当初予算額	64,067千円

8. 国勢調査の実施

国勢調査は、日本国内の人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにするために実施される国の最も基本的な統計調査で、5年周期で実施されており、平成17年度はその実施年にあたる。本市では、約2,000名の市民に統計調査員としての協力を受け実施する。

【主な事業】	指定統計調査費	159,589千円の内	
			当初予算額 155,807千円

9. 合併記念事業について

合併記念事業として、NHKの公開番組を本市文化会館において共同で開催し、合併によって新しい四日市市が30万都市となったことを、市民さらには全国に向けて発信する。

【主な事業】	合併記念事業	当初予算額	2,000千円
--------	--------	-------	---------

総 務 部

新年度予算における基本的な方針

近い将来に発生すると想定される東南海地震及び南海地震への対策の検討を進め、四日市市地域防災計画を修正し、地震防災対策を強力に推進する。

また、災害対策のための総合防災拠点となる本庁舎の耐震改修事業に着手し、平成17年度には実施設計を行う。

内部管理面においては、四日市市人材育成基本方針に基づき、市民の視点に立ち高い職務遂行能力を有する人材の育成を目指して、多様な職員研修を実施するとともに効率的な人事管理等に努める。

1. 防災対策について

平成16年は度重なる台風の上陸、加えて、紀伊半島沖地震、新潟県中越地震、そして、12月26日インド洋大津波と多くの自然災害が発生した。このことを受けて、さらなる防災対策の充実に取り組む。

特に地震防災対策として、平成15年度から実施している木造住宅の無料耐震診断に加え、木造住宅耐震補強補助、集会所耐震診断補助を実施する。また、防災出前講座、携帯電話メールによる災害情報提供、「FMよっかいち」による防災啓発番組の放送などにより、市民の防災意識の高揚を図る。さらに、「自らの命は自らが守る」という防災の基本理念に基づき、市民の積極的な防災活動を支援するため、自主防災組織活性化事業を実施し、市民の防災能力の向上に努める。

また、楠地域における災害初動機における防災資機材を配備するなど、防災倉庫等の整備を行う。

【主な事業】	防災啓発事業	当初予算額	2,118千円
	災害情報提供事業	当初予算額	2,499千円
	耐震化促進事業	当初予算額	103,200千円
	防災倉庫整備事業	当初予算額	8,372千円
	自主防災組織活性化事業	当初予算額	13,300千円
	水防設備整備事業	当初予算額	10,250千円

2. 大規模地震対策への対応について（庁舎等の管理及び整備）

平成15年12月に「南海・東南海地震対策推進地域」に指定された本市は、「耐震改修促進法」に基づき特定建築物を所有する事業者に対して、耐震診断の受診・改修工事の施工を指導する特定行政庁でもあり、率先して災害対策の拠点施設及び収容

避難所を計画的に改修してきた。

本庁舎においても地震災害時における総合防災拠点として、災害復旧の指揮・統制機能を高め、市民及び職員の安全を確保するため、耐震化整備を進めていく。

【主な事業】 庁舎等整備事業費 31,200千円の内
本庁舎耐震改修事業 当初予算額 30,000千円

3. 人権啓発事業について

人権が尊重されるまちを目指し、市民向け人権啓発事業として人権週間に「人権フェスタ2005」を開催するとともに、人権相談・支援体制の確立、効果的な人権啓発を実施するため人権学習センター機能の充実を図る。

【主な事業】 人権尊重都市宣言啓発費 当初予算額 1,249千円
人権啓発事業費 当初予算額 3,627千円

4. 職員研修の充実について

人材育成基本方針における職員に求める能力として、経営感覚をはじめ、専門能力、政策形成能力及び対人能力を掲げている。これらの能力アップのため、研修を実施し、説明責任能力をはじめ、待遇(CS)、人権意識、防災意識等の向上を図る。

職務遂行能力を高める研修(階層別研修)では、政策形成・戦略形成能力を養成する研修、技術系職員のスキルアップ研修等を実施する。また、昨年度から導入した年齢別研修を実施し、地方分権の推進について習得する。実務・専門研修(特別研修)では、官民交流セミナーの拡大やアカウントビリティ能力養成研修を実施し、職員の意識改革と説明責任能力の向上に努める。新たに、パソコンネットワークを活用して研修の効果を測定する手法(e-ラーニング)を導入する。さらに、視野を広げ指導力を養成する研修(派遣研修)の充実を図るため、自治大学校、市町村アカデミー等の外部教育機関へ職員を積極的に派遣し、その成果を発揮させることにより職場の活性化と市民の信頼向上を目指す。

【主な事業】 階層別研修費 当初予算額 7,862千円
特別研修費 当初予算額 6,723千円
派遣研修費 当初予算額 8,271千円

5. 人事・給与について

職員定数の削減は平成16年度から平成18年度の3カ年で平成15年度より180人以上の削減を目標とし、平成17年度においても平成16年度比約3.4%の削減を行った。今後、中核市移行に伴う要員の必要性が見込まれるところであり、既存業務のさらなる効率化と合理化に努める。

給与面では、平成16年度末の退職者から定年退職時の特別昇給を廃止するととも

に、平成17年度から昇給停止年齢を現行の58歳から55歳に繰り下げることとし、今後も行政経営戦略プランに基づいて諸課題に取り組んでいく。

【主な事業】 職員健康管理費 当初予算額 10,610千円

6. 契約事務について

契約事務の効率化を図るとともに入札の公平性・競争性を高めるため、費用対効果等に留意しながら電子入札システムの導入を推進する。

また、入札・契約制度の透明性を向上させるとともに契約事務に対する市民の理解を深めるため、建設工事や委託業務における入札結果等の入札・契約情報について、ホームページを活用した積極的な公表を実施する。

【主な事業】 (電子申請・届出システムの構築
のうち電子入札分 IT推進課予算 当初予算額 2,000千円)
一般経費63,430千円の内
ホームページサーバ使用料 当初予算額 145千円

7. 工事検査について

市民へ良質な公共施設を提供するため、発注した工事契約の適正な履行を確保する。工事の検査及び設計内容の審査、検査職員・監督職員の育成、並びに適正な施工管理を図りながら工事の検査室による全数検査を目指す。

【主な事業】 一般経費63,430千円の内
検査室一般管理経費(検査関係) 当初予算額 264千円
検査室一般管理経費(研修経費) 当初予算額 173千円
検査室一般管理経費(その他) 当初予算額 1,088千円

8. 農業委員会委員選挙について

平成17年7月19日に任期満了となる農業委員会委員選挙(楠町との合併により、定数が2人増えて32人)を適正に執行する。

【主な事業】 農業委員会委員選挙 当初予算額 6,814千円

財 政 部

新年度予算における基本的な方針

行政経営戦略プラン（平成 16 年度～平成 18 年度）における政策プラン・財政プラン・行革プランの一体的な推進を図り、財政の健全化と持続可能な財政基盤の確立を目指すとともに、目的志向・成果重視に基づく行政経営システムの構築を進める。

また、税収確保に向けては、未申告者対策の強化等課税客体的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。さらに、自主納税の一層の推進、徴収体制の強化に取り組み、収納率の向上を図る。

1．行財政改革の推進と行政経営システムの構築について

行革プランの推進については、目標の達成に向けて改革事項の着実な取組を進める。また、外部委託等の推進については、外部委託等に関する基礎調査（平成 16 年度）を基に検討し実施に向けて取り組むほか、指定管理者制度の導入については、条例改正、指定の手続等を計画的に進め、制度導入に対応できる外郭団体のあり方も併せて検討する。

行政経営システムの構築については、業務棚卸表と財源配分方式による予算編成システムを基にしたマネジメントサイクルを引き続き推進するとともに、業務棚卸表による行政評価システムについて、指標や目標設定のレベルアップ、業績測定や評価技法のスキルアップに努め、2 次評価の強化や外部評価の導入等による評価の多角化を進める。

【主な事業】 行財政改革推進費 当初予算額 3,207 千円

2．健全な財政運営の推進について

財源配分方式による予算編成システムについては、配分比率の設定方法やインセンティブ予算の導入を検討するなど、改善・改良を図る。また、企業会計的な財務諸表や地域経済動向など財政分析の取り組みをより一層進め、財政プランに示す「財政運営の指針」に掲げる目標の達成に向け、中長期的な観点からの財政運営を推進する。

【主な事業】 財政管理経費 当初予算額 5,949 千円

3．課税客体的確な把握について

市民税、固定資産税等の課税客体的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。特に未申告者に対する調査を強化するとともに、外国人に対する納税啓発活動の推進を図る。

4. 自主納税の一層の推進について

金融機関口座振替報奨金制度とダイレクトメールによる口座振替案内を実施し、口座振替加入率の向上を図る。また、税に対する理解と協力を得るため、税情報の積極的な発信を行う。

【主な事業】	自主納税推進経費	当初予算額	12,803千円
	(口座振替案内ダイレクトメール経費・銀行報奨金)		
	市税前納報奨金	当初予算額	25,820千円

5. 徴収体制の強化について

自動電話催告システムによる初期滞納者対策、時差勤務体制による不在者対策、差押処分の強化による悪質滞納者対策などに加えて、夜間・休日窓口の開設による納税の機会の拡大を図り、収納率のさらなる向上を目指す。

また、三重地方税管理回収機構に解決困難事案を移管し、累積滞納の整理回収をあわせて進めていく。

【主な事業】	自動電話催告システム経費	当初予算額	7,644千円
	さわやかテレフォン事業	当初予算額	29,592千円
	(嘱託及び再任用職給)		
	三重地方税管理回収機構負担金	当初予算額	13,100千円
	滞納整理システム経費	当初予算額	222千円

市民部

新年度予算における基本的な方針

新年度予算における市民部の基本的方針は、市民がその個性と能力を十分発揮して、地域課題に応じた市民主体のまちづくりを進めていけるよう、積極的に支援していくことである。

そのため、民間の発想を有し、市民活動等の経験のある地域マネージャーを新たに8地区市民センターに登用する。

また、市民の自主的、能動的な地域活動への支援制度をより一層拡充し、新たな市民活動の発掘・育成にも努める。

さらに、男女共同参画社会づくりの推進のため、その根拠となる条例を策定する。

1. 地域社会づくりについて

地域社会づくりにおいて、市民が主体となって取り組むべき分野の中心的な存在となつていただくため、新たに8地区市民センターに地域マネージャーを配置する。

また、市民による先駆的で夢のある地域活動を支援するため「個性あるまちづくり支援事業」の制度拡充を行うとともに、公益信託制度を活用した市民活動ファンドの充実も図る。

さらに、財政部所管であった納税奨励金を地域社会づくり総合事業費補助金に統合し、より一層効果的、効率的な活用を図る。

【主な事業】 地域社会づくり総合事業費補助金

	当初予算額	76,000千円
市民活動支援事業	当初予算額	20,000千円
個性あるまちづくり支援事業	当初予算額	15,900千円 (防犯特別枠3,000千円含む)
市民活動ファンド出捐金	当初予算額	4,100千円
地区市民センター住民運営推進事業(地域マネージャー)	当初予算額	33,500千円

2. 安全なまちづくりについて

「安全なまちづくり基本計画」に基づき、自主防犯活動団体で組織する「四日市市地域防犯協議会」を中心とした団体間の情報交換・意見交換を基に様々な検討に取り組むとともに、「個性あるまちづくり支援事業」の拡充などにより、市民団体が取り組む防犯活動を積極的に支援する。

【主な事業】	安全なまちづくり推進事業	当初予算額	579千円
	防犯外灯新設維持費補助金	当初予算額	64,000千円
	個性あるまちづくり支援事業(防犯特別枠)	当初予算額	3,000千円
		(15,900千円のうち 再掲)	

3. 男女共同参画社会づくりの推進について

平成16年度の「男女共同参画推進条例(仮称)の骨子に関する提言」を受けて施策を総合的かつ計画的に行うための根拠となる条例案を策定する。また、女性の人材の情報を蓄積し、そしてその情報を活用する制度をつくり、審議会等の委員、研修会の講師等に積極的に女性を活用し、男女共同参画社会を促進する。

【主な事業】	女性行政事業	当初予算額	1,676千円
	女性センター事業	当初予算額	4,606千円

4. 窓口サービスの向上について

戸籍や住民票証明などをはじめとする窓口業務について、より正確、より迅速、より親切をモットーに、無駄のない効率的な窓口を目指す。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務費	当初予算額	86,245千円
--------	-------------	-------	----------

5. 国民健康保険事業について

医療費の抑制につなげるための保健事業として「国保総合検診」を前年度に引き続き実施し、新たに歯科検診の一部補助事業を行う。

一方、国民健康保険料の賦課にあたっては、従来の4～6月暫定賦課を廃止して、7月から翌年3月までの9期納付の確定賦課として被保険者にわかりやすい賦課を実施する。

【主な事業】	保健衛生普及事業	当初予算額	18,194千円
--------	----------	-------	----------

6. あさけプラザ事業について

年間47万人の利用がある当館は、開館21年目を迎え施設・設備機器の老朽化が目立つものの、住民の魅力的なふれあいの場としての役割を担うために、より一層の適切な管理運営を行い、広範な住民ニーズに応えるよう努める。

また、広域の住民を対象とした各種多様な自主事業を引き続き行い、あわせて当館のPRを積極的に展開し貸館利用サービスの向上に努める。

【主な事業】	あさけプラザ管理運営費	当初予算額	73,540千円
	あさけプラザ整備事業費	当初予算額	674千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	当初予算額	1,000千円

楠 総 合 支 所

新年度予算における基本的な方針

楠町との合併により設置した楠総合支所は、地方自治法第155条の規定による支所で、「特定地域を限り、長の権限に属する市町村事務の全般にわたり事務を掌る総合的な出先機関」である。したがって、地域住民の利便性を確保する楠地域の行政運営を全般的に所掌する組織となり、一定の予算を持って楠地域での独自の事業、施設の管理などを行う。

そこで、新市建設計画推進プラン事業の地域まちづくり活動促進事業、地域福祉施設整備事業、地域防災体制整備事業、大規模震災対策事業等を中心に楠地域での事業を行うほか、教育委員会所管の公民館、スポ - ツに係る事務を執行する。また、新市建設計画の執行状況等について審議する地域審議会を設置する。

1. 地域審議会開催について

地域審議会は市町村の合併の特例に関する法律(昭和40年法律第6号)第5条の4第1項の規定に基づき、四日市市・楠町合併協議会において、地域住民の懸念や不安を払拭することを目的に設置された。審議会は市長の諮問に応じ開催し、新市建設計画の進捗状況等について審議し、また、必要に応じて意見を述べることができる。

【主な事業】 地域審議会開催事業 当初予算額 240千円

2. 地域活性化事業について

楠地域における住民の自主的なまちづくりを進めるため、楠健康ふれあいフェスタ、地区運動会、文化祭に対する事業補助を行うほか、各種団体活動の段階的な自立を図るため支援し補助を行う。また、住民の自発的な参加による「楠地区まちづくり市民会議」を開催し住民と行政の協働を推進する。

【主な事業】 地域活動支援事業 当初予算額 7,040千円
地域各種団体支援事業 当初予算額 7,236千円

3. 消防・防災について

楠地域全域が鈴鹿川の三角州の沖積層で形成された低地に位置しているため、災害(水害・震災)に対する市民の不安も強く、過去幾度となく被害を受けている。こうしたことから、震災対策として、老朽化している大規模震災時等の避難場所となる楠避難会館を改築整備するため、実施設計に着手する。

また、災害発生時の消防団活動の機能向上のため、配備の遅れている楠消防団に災害救助道具セットを装備する。

【主な事業】 避難施設整備事業 当初予算額 4,500千円
消防団装備整備事業 当初予算額 1,260千円

4 . 楠ふれあいセンター整備事業について

高齢者が健康を維持し、更には地域社会での「新たな担い手」としての生きがいづくりや次世代を担う子どもたちの健全な育成の場として、高齢者から子どもまで利用者の世代や状況に関わらず、ともにふれあい交流のできる地域の拠点施設として楠ふれあいセンター「ゆめの木」の整備を計画している。平成16年度には用地取得及び造成、施設設計を実施し、平成17年度施設建設を実施する。

【主な事業】 ふれあいセンター建設事業 当初予算額 359,700千円

5 . 楠歴史民俗資料館について

平成14年3月に旧庄屋岡田邸を寄贈され、同年6月に主屋部分を、また12月に立會所等が楠町有形文化財として楠町教育委員会より指定を受けた。

楠町ではこの施設を活用することにより、楠の歴史や文化の保存及び地域の文化の振興を図り、後世に継承するため平成15年度から2か年をかけて歴史民俗資料館として整備を進め、本年3月に完成し、4月29日には開館を予定している。

生涯学習を行なう場として広く市民に開放するとともに、小中学生の地域学習の場としての利用を図る。

【主な事業】 楠歴史民俗資料館管理事業 当初予算額 6,835千円

6 . 教育予算の補助執行事業について

楠緑地体育館(平成7年建設)、楠公民館(昭和60年建設)が、それぞれ完成から10年、20年が経過しており、雨漏りや空調設備の改修事業を実施する。

本事業は教育委員会の所管事業であるが、地域住民の利便性のため同委員会からの補助執行として実施する。

【主な事業】 楠緑地体育館改修事業 当初予算額 20,000千円

楠公民館改修事業 当初予算額 24,000千円

保 健 福 祉 部

新年度予算における基本的な方針

少子高齢化が進展するなか、一人ひとりが生きがいを持って、家庭や地域の中で障害の有無や年齢にかかわらず、その人らしい安心のある生活が送れるよう施策の推進を図る。

児童福祉においては、四日市市次世代育成戦略プランの推進を図るとともに、引き続き特別保育、児童虐待防止等の子育て支援策を推進していく。

増加する高齢者への対策としては、施設整備を図る一方で、引き続き在宅介護の充実と介護予防の取り組みを進める。

障害者施策では、障害者の自立生活支援のための施策を推進していくほか、障害児が夏休み等に利用する障害児デイサービス（相互利用）事業を開始するなど、障害のある人の社会参加や日中活動の場の整備に努める。

健康づくりでは、生活習慣の改善に重点をおいたヘルスアップ事業を引き続き実施するとともに、各種検診の実施による疾病の早期発見や予防などの保健事業の推進に努める。

1. 児童福祉について

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を図るため、四日市市次世代育成戦略プランの推進を図る。また、市民の多様な保育ニーズに応えるため、延長保育や乳児保育、3歳未満児を対象に週に2、3日程度、必要に応じて利用できる特定保育など、必要な時に利用できる多様な保育サービスの提供を行う。

さらに、地域の子育て家庭を支援するため、移転改築を行った海蔵保育園を新たに子育て支援センターとして指定して、現在7ヶ所の子育て支援センターを1ヶ所増設し、楽しんで子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行う。また、子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて関係機関が定期的に会議を開催するとともに、連携して四日市市子どもの虐待防止ネットワーク事業を実施する。

「エスペランス四日市」について、従来の専門的職員配置等に対する助成に加え、施設の建替えに要する費用への助成を行い、子どもの処遇向上を促進する。

【主な事業】民間保育所延長保育促進事業	当初予算額	82,581千円
民間保育所乳児保育促進事業	当初予算額	14,119千円
民間保育所特定保育事業	当初予算額	5,376千円
子育て支援センター事業	当初予算額	2,755千円
地域子育て支援センター事業	当初予算額	15,744千円

児童虐待防止事業	当初予算額	1,682千円
民間児童養護施設等支援事業	当初予算額	29,563千円

2. 高齢者施策について

平成17年1月1日現在、本市の65歳以上人口は53,013人で、高齢化率は17.76%と年々高齢化が進んでおり、今後も上昇する見込みである。

こうした状況から、平成17年度も第3次四日市市高齢者保健福祉計画・第2次四日市市介護保険事業計画において基本理念となっている「健康で安心と生きがいある長寿社会」を目指し、市民・事業者とともに高齢者施策を推進します。

具体的には、新設の特別養護老人ホーム(50床)へ建設費補助を行い、入所施設の充実を図る。また、計画の重点課題でもある「在宅介護の充実」を図るため、この特別養護老人ホームに併設したショートステイ専用居室(10床)への建設費補助を行う他、市内25カ所の在宅介護支援センターに高齢者総合相談事業を委託するとともに、市内24カ所の在宅介護サービスセンター等に見守り機能を兼ねた訪問給食事業の委託を継続し、高齢者が住みなれた地域で自立して生活できるよう支援していく。

【主な事業】	在宅介護支援センター事業	当初予算額	140,970千円
	訪問給食事業	当初予算額	94,799千円

3. 障害者施策について

障害福祉においては、第2次四日市市障害者計画に基づき、障害のある人もない人も共に暮らせるまちの実現に向けて、福祉サービスの充実など、自立生活支援のための施策を推進していく。このため、小規模作業所等の運営費について、重度・重複障害者に対する重症心身障害者加算の創設や、障害のある小・中学生等が夏休み等に利用する障害児デイサービス(相互利用)事業を開始するとともに、新設の知的障害者通所授産施設へ建設費補助を行うなど、障害のある人の社会参加や日中活動の場の整備充実に努める。

【主な事業】

ホームヘルプサービス事業(身体)	当初予算額	79,100千円
ホームヘルプサービス事業(知的)	当初予算額	14,500千円
ホームヘルプサービス事業(精神)	当初予算額	6,959千円
更生援護施設事務事業(身体)	当初予算額	338,000千円
更生援護施設事務事業(知的)	当初予算額	847,957千円
新 障害児デイサービス(相互利用)事業	当初予算額	10,016千円
知的障害者授産施設建設費補助事業	当初予算額	12,056千円

4. 保健事業について

母子保健事業については、近年の少子化や核家族化に伴う育児不安を抱える母親や児童虐待の増加等に対応するため、引き続き妊産婦乳幼児健康診査、保健師等の訪問、親子教室、相談活動を実施する。また、保育園・幼稚園の子育て支援事業に参加し、未就園児の親子の観察及び育児相談を行うなど、関係機関や民生委員児童委員・主任児童委員との連携を深め、子育て支援事業を推進する。

成人保健事業については、健康増進、生活習慣病の予防、介護予防を目的として、基本健康診査や各種がん検診の実施をはじめ、生活習慣の改善に重点を置いた健康づくり事業として、三重北勢健康増進センターを中心に、ヘルスアップ事業を引き続き実施する。

結核対策事業では、結核予防法の改正により、結核予防接種（BCG）の接種月齢を6ヶ月未満に変更する。

【主な事業】	ヘルスアップ事業	当初予算額	30,528千円
	基本健康診査事業	当初予算額	456,103千円
	予防接種事業	当初予算額	351,011千円
	がん検診事業	当初予算額	183,830千円
	妊産婦乳幼児健康診査事業	当初予算額	99,300千円
	結核対策事業	当初予算額	30,049千円

5. 生活保護について

保護の状況は、平成7年（保護率4.6%、受給世帯940世帯）を底として毎年増加の傾向にあり、平成17年1月現在の保護率は8.5%、受給世帯は1,747世帯に達している。この原因として、高齢化の進展、家族意識の変化、中高年層における厳しい雇用情勢がある。

こうした状況の中、平成17年度はケースワーカーの増員を図るなど実施体制を充実強化し、生活困窮者の保護需要に的確に応じるとともに自立に向けた支援を進めていく。

【主な事業】	扶助費	当初予算額	4,598,600千円
	法外扶助費	当初予算額	23,086千円

6. 同和行政の推進について

同和問題の解決に向けた取り組みについては、特別措置法失効後も引き続き展開していく必要があり、平成15年度に出された同和対策委員会と隣保館運営審議会の両答申に基づき、一般施策の活用等を図るとともに、隣保事業の見直し・充実に努め、同和行政を推進することにより、差別のない社会の実現を目指す。

平成17年度は、周辺地域との交流を通じた地域社会における相互理解を促進して

いくため、人権プラザを拠点に人権のまちづくり事業を推進していく。また、全体的に老朽化が進んでいる人権プラザ等関連施設の年次的な改修を進める。

【主な事業】	隣保事業	当初予算額	7,959千円
	人権のまちづくり事業	当初予算額	3,500千円
	新 人権プラザ等関連施設改修事業	当初予算額	5,000千円

7. 地域福祉の推進について

家庭や地域の中で自立した生活が送れるように支援していくためには、地域で支え合い共に生きるという相互扶助機能や連帯意識を醸成し、地域の福祉力を高めることが重要であり、市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等との連携を深め、地域福祉の推進を図る。

【主な事業】	ふれあいのまちづくり事業	当初予算額	8,442千円
	(市社会福祉協議会事業)		

8. 老人保健医療特別会計について

老人保健法に基づき、高齢者が医療機関に受診する時の負担を軽くし、安心して医療を受けられるよう支援していく。

【主な事業】	医療給付費	当初予算額	19,639,000千円
	医療費支給費	当初予算額	394,000千円

9. 介護保険特別会計について

第3次四日市市高齢者保健福祉計画・第2次四日市市介護保険事業計画に基づき、介護保険事業を推進し、介護の必要な人が安心してサービスを受けられるよう、引き続き支援していく。

また、平成18年4月からの介護保険制度の改正を盛り込んだ平成18年度から20年度を計画期間とする第4次四日市市高齢者保健福祉計画・第3次四日市市介護保険事業計画を策定する。

【主な事業】	介護保険給付費	当初予算額	13,020,600千円
--------	---------	-------	--------------

商 工 農 水 部

新年度予算における基本的な方針

厳しい経済状況に対処し、本市の産業振興を図るため、市・県・産業界等の連携により平成 15 年 4 月に認定を受けた「三重県技術集積活用型産業再生特区計画」の推進に取り組んでいる。市としては、この特区計画に基づいた支援措置を充実させ、高付加価値型事業や次世代産業の新規設備投資誘発に努めていきたいと考えている。また、競争力ある中小事業者の育成を図るため、起業家の育成、支援や、産学官連携などの施策を展開していく。

商業振興については、意欲的、能動的な取り組みを展開している事業者への支援を積極的に行うとともに、平成 15 年 8 月にオープンしたすわ公園交流館を拠点として、多くの市民や団体等を中心とした事業やまちなかにぎわい創出事業に取り組む、商店街の新たな魅力とにぎわいを創出し、中心市街地の活性化を促進する。

これら商工業の活性化を図っていくことで雇用の維持に努めるとともに、就職が年々厳しさを増している若年者、雇用率の低下が見られる障害者等に対する就労支援に積極的に取り組むこととする。

農林水産業においては、農業従事者の減少・高齢化、農地面積の減少が加速化している。その結果、生産構造が脆弱化し、食料の安定供給や多面的機能の発揮に重大な支障が出る恐れがある。このような情勢のもと、国の食料・農業・農村基本計画においては、グローバル化に対応できるプロ農家の育成に向け、担い手に対象を絞った施策の展開を進めている状況である。本市においても、農業が有する食料生産・環境保全・防災等の多面的機能を維持するため、「四日市の農業の再生」に向けて取り組んでいく。

そのため、重点事業として、担い手の育成・確保、地産地消の推進、農地の保全・有効活用を図る「四日市農業再生事業」を 16 年度に引き続き実施する。また、新たに環境保全型農業を目指した施策や水産業に結びつく海の環境浄化の試験的な実証に取り組めます。あわせて農業生産基盤や農村環境の整備についても引き続き推進する。

1. 臨海部工業地帯等の産業再生について

平成 12 年度より施行している企業立地促進条例の改正により、既存事業所の新規設備投資や新規事業所の立地に対する奨励制度の充実を図る。また、各事業所における新たな研究開発拠点の形成を支援するため、高付加価値型事業への転換に資する研究開発や、特区構想に沿った事業分野での研究開発に関する新たな施設、設備に対して、必要となる経費の一部を助成する。さらに、燃料電池の早期普及及び燃料電池関連産業の集積を目的として、燃料電池の実証試験に関する経費の一部を助成する。また、資源循環型社会の構築に資する環境産業の立ち上げを支援する。

【主な事業】企業立地奨励金交付事業	当初予算額	442,000千円
民間研究所立地奨励金交付事業	当初予算額	90,000千円
燃料電池実証試験奨励金交付事業	当初予算額	32,000千円
資源活用型地域振興施設整備事業	当初予算額	20,000千円

2. 中心市街地の活性化について

すわ公園交流館では市民参画による様々な事業の企画実施を進め、諏訪公園も一体的に活用し、周辺商店街と連携を図りながら、来街者や居住者のための魅力的な施設としていく。また、意欲的な取り組みを展開している商店街等への支援などを通じて、新たなにぎわいの創出と個性的で魅力あふれる商業地の形成を目指す。さらに、中心市街地の活性化のため、高次商業施設(アムスクエア)に設備投資する事業者への支援を行う。

【主な事業】すわ公園交流館管理運営事業	当初予算額	13,122千円
すわ公園交流館周辺イルミネーション事業	当初予算額	1,624千円
商店街魅力アップチャレンジ事業	当初予算額	2,426千円
近鉄駅西開発整備事業	当初予算額	106,037千円

3. 融資制度の見直しについて

中小企業の資金繰りが厳しい状況にある中で、効果的な金融支援を図るため、より利用しやすい制度となるように制度の改正を行う。

国や県の融資制度との重複や現在の利用状況をもとに、融資制度の集約を図るとともに、連帯保証人の要件緩和や手続きの簡素化などを行う。

【主な事業】融資制度預託金	当初予算額	833,000千円
---------------	-------	-----------

4. 雇用対策について

就労困難層に対し就職に有利な資格取得を支援するほか、障害者雇用の促進に努める。また、高校生向けの産業現場実習(インターンシップ)受入れ事業所への助成を行い、若年者の就労意欲の形成に努める。

【主な事業】就労対策事業	当初予算額	2,000千円
就労促進事業	当初予算額	1,400千円
障害者雇用奨励事業	当初予算額	1,860千円

5. 「大四日市まつり」について

本市の代表的なイベントである「大四日市まつり」を市民主体で実施していくため、実行委員会に対し、事業費の補助を行う。また、まつりの今後のあり方について、「大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議」の提言をもとに、事業内容や運営方法な

どを検討し、大四日市まつりの事業に反映していく。

【主な事業】大四日市まつり事業費補助金 当初予算額 13,500千円

6. 四日市花火大会について

平成15年度以来休止していた四日市花火大会を、より市民に親しまれる花火大会となるよう工夫し、3年ぶりに再開する。

【主な事業】四日市花火大会事業費補助金 当初予算額 13,000千円

7. 勤労青少年ホーム事業について

勤労青少年のニーズ等を勘案し、従来実施してきた事業を更に見直しながら、自立体験や学習の場を提供する。また、施設の有効活用として教育委員会の事業の受け入れを引き続き実施するとともに、今後の施設のあり方等も検討していく。なお、防災対策の一環として、耐震補強工事の設計に着手する。

【主な事業】講座開催経費（定期教養講座等） 当初予算額 10,725千円
施設管理運営費（耐震設計等） 当初予算額 8,232千円

8. 四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルについて

昨年開催した「アジア自転車競技選手権大会」を記念して、自転車ロードレース「(仮称)四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル」を開催し、地域振興を図るとともに環境都市四日市をアピールする。

【主な事業】四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業
当初予算額 20,000千円

9. 競輪事業について

ナイター競輪場としてのイメージの定着、積極的な場外発売、電話投票の利用増加を図るなど、車券の売上向上に努める一方、開催経費に占める固定的な費用の削減に努める。

【主な事業】開設54周年記念四日市競輪
当初予算額 7,734,958千円
(売上見込額 8,106,300千円)

10. 農業の担い手の育成確保について（四日市農業再生事業）

新たな農業経営の展開のため、農業者自らが生産から加工・販売まで手がけ、直売施設整備やインターネットによる情報提供・販売を行う取組みを支援する。加えて、労働力確保や経営の多角化を図るため、個人経営から法人化への転換を支援する。また、効率的な農業経営を図るため、担い手への農地集積を推進する。

さらに新規就農に向けた実践技術研修の実施、初期投資の負担軽減のための支援を行い、新たな担い手の確保を図る。

これらにより、経営感覚に優れた、効率的かつ安定的な担い手の育成・確保を図る。

【主な事業】農業経営基盤支援事業	当初予算額	4,100千円
新規就農支援事業	当初予算額	4,700千円
(新担い手対策土地基盤整備事業	当初予算額	5,000千円 後述)

11. 地産地消の推進について(四日市農業再生事業)

農作業体験や市ホームページ等を通じ、地域特産品やその直売施設、農業関連情報など「四日市の農業」を広く紹介する。また、付加価値の高い無農薬栽培等による農産物の生産を奨励し、消費者の求める「新鮮・安全・安心な農産物」を地域で生産し、地域で消費する「地産地消」を推進し、市内農産物の生産振興、農家の経営安定を図る。

【主な事業】地産地消推進事業	当初予算額	2,300千円
----------------	-------	---------

12. 農地の遊休化の抑制について(四日市農業再生事業)

16年度に実施した農地利用、営農意向調査に基づき、地域の農業委員と協働し、遊休化が危惧される農地を、意欲ある担い手へ集積することにより、その防止を図る。また、耕作放棄された農地の復元化を支援する。加えて、企業の農業への新規参入、NPO、高齢者、一般市民による農地の活用等、農地の遊休化防止策を官民連携して検討し、実施する。さらに、農地の段差解消、畦畔除去等を行い、水田区画の大型化を図り、大型機械による作業の効率化、省力化により、農地集積と農地の保全・有効活用を図る。

【主な事業】遊休農地対策事業	当初予算額	2,700千円
新担い手対策土地基盤整備事業	当初予算額	5,000千円

13. 米、麦、大豆の安定生産について

米の生産調整の円滑な推進と、水田における麦・大豆の本格的な集団的作付を促進することにより、米、麦、大豆の安定供給ならびに水田の保全、有効活用に資する。

【主な事業】生産調整推進対策事業	当初予算額	8,578千円
集団転作推進事業	当初予算額	8,600千円
生産調整推進特別事業	当初予算額	1,824千円

14. 茶等の特産物の安定生産について

特産物の栽培技術の向上、品評会の開催、各種イベントへの参加など各種生産団体活動への助成等により、地元農産物のPRと消費拡大を図り、食の安全・安心の確保と市内特産物の安定生産に資する。

【主な事業】農業生産総合対策事業	当初予算額	360千円
------------------	-------	-------

茶業振興対策事業	当初予算額	900千円
園芸作物等振興事業	当初予算額	235千円

15. 有害鳥獣による農作物被害対策について

イノシシ、シカ、サル等有害鳥獣による被害から農作物を守るために、銃器による威嚇・殺処分や電気柵による防除に対して補助等を行う。

【主な事業】	有害鳥獣捕獲事業	当初予算額	390千円
	有害鳥獣異常発生対策事業	当初予算額	2,930千円

16. 畜産物の安定生産について

生産技術の向上、家畜防疫・畜産環境の保全や生産者団体への支援（乳牛育成、銘柄豚普及）によりその安定生産に資する。

【主な事業】	家畜防疫環境保全対策事業	当初予算額	550千円
	銘柄豚普及活性化事業	当初予算額	1,700千円
	乳牛育成事業	当初予算額	2,040千円
	肉牛肥育預託事業	当初予算額	80,000千円

17. 水産業の振興について（豊かな海づくり事業）

水産資源の保護育成と安定供給に資するため、種苗放流を行うとともに、有用微生物群（EM）を活用し、アサリ等の漁獲回復を図るため、漁場環境の浄化に向けて試験的な実証に取り組む。

【主な事業】	新豊かな海づくり推進事業	当初予算額	2,000千円
	ヨシエビ等種苗放流事業	当初予算額	1,093千円
	抱卵ガザミ放流事業	当初予算額	331千円
	アサリ種苗放流事業	当初予算額	260千円

18. 食肉センター・食肉市場事業について

食肉品質の向上及び安全で安心な食肉供給に資するため、衛生的で効率的な施設の実現を目指す。また、枝肉取引の適正化と流通の円滑化を図るために卸売業者が実施する集荷・販売対策事業に助成を行う。

【主な事業】	食肉センター食肉市場施設管理事業	当初予算額	56,069千円
	食肉センター食肉市場業務委託	当初予算額	63,964千円
	食肉センター食肉市場施設整備事業	当初予算額	84,055千円
	市場機能強化対策事業	当初予算額	81,260千円

19. 農業生産基盤整備事業について

ほ場・農道・用排水路等の施設整備を図り、作業の効率化、省力化を図るとともに、災害を未然に防止して農産物の安定生産を図る。

【主な事業】	受託ほ場整備事業（札幌地区）	当初予算額	6,755千円
	新土地改良施設維持管理適正化事業	当初予算額	19,130千円
	市単農地防災事業（ため池）	当初予算額	3,400千円

20. 農業集落排水事業について

農業集落におけるし尿・生活雑排水などの汚水処理施設の整備を行い、農村生活環境の改善と農業用排水路の水質保全を図り、併せて公共用水域の水質改善に寄与する。

【主な事業】

施設整備補助事業（水沢中部地区・小西地区）	当初予算額	308,800千円
施設整備単独事業（水沢中部地区・小西地区）	当初予算額	23,000千円
施設維持管理（供用8地区）	当初予算額	61,459千円

21. 漁業生産基盤整備事業について

磯津漁港施設（南防波堤）・楠漁港施設（北防砂堤）の整備を行い水産物の安定生産を図るとともに、漁港海岸の整備により背後地を自然災害等から守る。

【主な事業】	地域水産物供給基盤整備事業	当初予算額	45,480千円
	新楠漁港漁場機能高度化事業	当初予算額	90,948千円
	磯津漁港海岸保全整備事業	当初予算額	62,455千円

環 境 部

新年度予算における基本的な方針

ごみ問題を始め自動車交通公害や生活排水問題などの都市生活型の環境問題、さらには自然環境保全から地球環境問題に至るまで今日の環境問題は、私たちが自らの社会生活のあり方を変えない限り解決が難しい問題であるとともに、市民・事業者等のあらゆる主体と協働し取り組んでいく必要がある。

このような認識から、「第2期環境計画」及び「ごみ処理基本計画」に基づき、快適環境都市の実現に向けた環境施策の推進を図る。

1. 新総合ごみ処理施設の建設について

北部清掃工場は、ダイオキシン対策に併せて10年の延命工事を行ったが、新たな総合ごみ処理施設の建設を平成25年度の稼働を目標に進めていく。平成16年度は、整備内容についての基礎的調査、民間資金・活力活用についての予備的な調査等を行ったが、平成17年度については、平成16年度調査を基に、引き続き、より詳細な調査を行うとともに、環境影響評価及び地質調査に着手する。

【主な事業】新総合ごみ処理施設建設調査事業 当初予算額 38,050千円

2. 資源リサイクルセンターの移転について

廃棄物をできる限り資源として有効活用を図るため、現在、四日市市平尾町において、再生可能物の集荷・処理を行っているが、収集規模に比べ手狭になってきていること、及び騒音など周辺環境への配慮から、楠町北五味塚にある楠町リサイクルセンターを拡充する形で、平成18年度末までの移転を計画している。

平成17年度は移転のための基礎的調査及び排水処理施設等必要な工事等を実施する。

【主な事業】ごみ処理施設管理運営費117,679千円のうち
リサイクルセンター移転工事調査等 当初予算額 10,000千円

3. 埋立処分場延命対策事業

南部埋立処分場の残余容量は年々少なくなってきており、このままのごみ量で推移していくとあと12年程で埋立が不可能になる。新たに処分場を建設するには多大な費用がかかること、また設置場所を確保することは困難な状況にあり、プラスチックごみが焼却可能となる新清掃工場が完成するまで、埋立量の削減施策を行い現処分場の延命を図る。

【主な事業】 埋立処分場管理運営費 205,540千円のうち
 家庭系埋立ごみ処理委託 当初予算額 95,400千円

4. 地球温暖化対策について

市域における温室効果ガスの排出実態を調査するとともに、市民、事業者等で組織された地球温暖化対策地域協議会の温室効果ガス排出抑制等の取り組みに対して必要な支援をしていく。

【主な事業】 地球温暖化対策事業 予算額 3,426千円

5. 環境計画の推進について

総合的に環境施策を推進するため、環境計画の進行管理を図る。

また、今日の環境問題に市民と協働で取り組むため、「環境を考える市民会議」を引き続き開催するとともに、太陽光発電設備の普及を図るため、市民に対し設置費の一部補助を実施する。

【主な事業】 環境計画推進事業費 3,120千円のうち
 太陽光発電設備設置費補助事業 予算額 3,000千円

6. 公害防止対策の推進について

環境の現状を把握するため、大気関係では大気汚染常時監視測定及び有害大気汚染物質測定を行う。水質関係では市内河川等の公共用水域の環境監視測定を行うとともに、ダイオキシン類についても調査を行い実態を把握する。騒音・振動関係では道路に面する地域における騒音の環境基準適合状況の評価等を行う。悪臭関係では、規制地域における悪臭パトロールを実施するとともに、悪臭物質の測定を行う。

また、公害関係諸法令及び公害防止協定等に基づき、事業所に対する立入調査を実施し、規制基準適合状況を把握するとともに、必要に応じて指導を行う。

【主な事業】 大気汚染対策事業 予算額 44,536千円
 水質汚濁対策事業 予算額 10,495千円
 騒音・振動監視測定事業 予算額 1,060千円
 悪臭監視測定事業 予算額 1,605千円

7. 生活排水対策について

下水道等の整備が先になる地域において、合併処理浄化槽の設置補助(630基を予定)を行い、特に市街化調整区域内の既存集落で合併処理浄化槽を集団設置し生活排水対策に取り組む地域においては、併せて既存集落環境整備事業として専用排水管の整備を図る。

【主な事業】 合併処理浄化槽設置費補助金事業 予算額 262,810千円

8. 環境教育の推進について

市民の環境保全意識の高揚と環境保全活動の促進を図るため、環境学習センターを拠点として各種啓発事業を実施する。

特に、市民団体との連携を強化し、核となるリーダーの養成等、人材育成に努めるとともに、(財)国際環境技術移転研究センターと連携し、地球的視野に立った啓発事業を実施する。

【主な事業】 環境教育推進事業費5,932千円のうち

環境リーダー養成講座業務委託事業	予算額	1,500千円
子ども地球環境塾業務委託事業	予算額	2,520千円

9. 公害健康被害者対策について

公害健康被害者が自立し、安心して生活できるために、医療費等の給付を行うとともに、転地療養、家庭療養指導等の公害保健福祉事業を実施する。

また、健康被害予防事業として、1歳6ヶ月児、3歳児及び6歳児を対象としたアレルギー素因児の健診、調査を実施する。

【主な事業】	公害健康被害補償給付事業	予算額	779,952千円
	公害保健福祉事業	予算額	2,895千円

都 市 整 備 部

新年度予算における基本的な方針

均衡ある本市の発展に向けて、地域の実情に応じた適切な土地利用を実現するため、必要な計画の策定等を行うとともに、市民の多様化する価値観を背景に、市民自らが行うまちづくりへの支援、公園・河川等の緑化・美化活動において市民参画の取組みの拡充等により、市民主体のまちづくりが進むよう努める。

また、市民が快適に暮らせるよう都市基盤の整備に当たっては、時代の要請であるバリアフリーに配慮するとともに、地震をはじめとする災害に強い施設づくりを目指す。道路整備については国道、県道を含めた幹線道路ネットワークの形成、安心して通れる歩行空間づくりを大きな柱として実施し、公園整備については南部丘陵公園をはじめ市民に親しまれる公園、緑地づくりを実施する。河川整備については市民の生命、財産を守るため必要な治水対策を実施する。住宅整備については、PFI的手法により大瀬古新町に市営住宅（第2期分）を整備する。また、公共建築については、安全で使いやすい施設の整備を行う。これとともに、既存の都市施設については、有効かつ適切な維持管理に努める。

1. 均衡のとれた土地利用について

均衡のとれた土地利用を進めるため、都市計画マスタープランの理念に基づいて都市計画の見直しを進める。

【主な事業】 土地利用計画策定調査費 当初予算額 4,400千円

2. 都心居住の促進について

都心居住の促進を図るため敷地の共同化による再開発マンション建設事業である諏訪新道第三地区優良建築物等整備事業に対する財政支援を行う。

【主な事業】 優良建築物等整備事業 当初予算額 43,000千円

3. 円滑に移動できる交通体系について

着工準備採択を受けた近鉄川原町駅付近連続立体交差関連整備計画の検討や、NPOが運行する市民自主運行バスの支援を行ない、円滑な公共交通体系を目指していく。

【主な事業】 近鉄・三岐富田駅前広場整備事業 当初予算額 118,000千円
連続立体化関連施設整備事業 当初予算額 16,000千円
市民運行バス支援事業 当初予算額 3,600千円

4. 市民主体のまちづくりについて

市民主体のまちづくりを実現していくために、市民のまちづくり活動や、緑の保全と創出を進める活動を支援する。

【主な事業】	まちづくり活動支援事業	当初予算額	2,500千円
	里山保全事業	当初予算額	2,400千円

5. 建築基準法に基づく許認可について

建築基準法等に基づき、建築確認申請、計画通知、完了検査、建築物の許認可等において適正な業務処理を行う。また、違法行為の防止対策に努めるとともに、特殊建築物の定期報告制度に基づく審査、査察及び木造建築物耐震診断等の耐震対策の推進により建築物の安全性向上を図る。

【主な事業】	建築指導関係事務費	当初予算額	11,315千円
--------	-----------	-------	----------

6. 都市計画法に基づく開発許可について

都市計画法に基づく開発許可申請及び建築許可申請等において適正な許可処分を行い、宅地の安全を確保し快適なまちづくりに努める。

【主な事業】	開発指導関係事務費	当初予算額	2,334千円
--------	-----------	-------	---------

7. 道路整備について

新たな社会状況の変化に対応したまちづくりを実施していくうえで重要な要素である道路整備については、街路及び幹線道路の整備 一般市道の整備 橋梁の整備 安心して通れる歩行空間づくり 道路の維持の5事業を進める。

街路及び幹線道路の整備

市民が快適に暮らせ、移動を円滑にできるよう街路等を整備し、国県道とともに道路ネットワークを形成することで、市内の渋滞緩和を図る。

【主な事業】	街路整備事業・道路整備事業	当初予算額	2,109,747千円
	<代表路線 千歳町小生線(街路)・山村平津線(道路)>		

一般市道の整備

地域のニーズに適切に対応するため、市内の市道整備を行う。

【主な事業】	道路改良単独事業(大矢知垂坂1号線等)	当初予算額	245,616千円
	道路舗装事業(舗装・側溝・路肩整備工事等)	当初予算額	135,716千円

橋梁の整備

大規模地震に対する備えとして早急に橋梁の耐震補強を含めた整備を図る。

【主な事業】	橋梁整備単独事業(萱生跨線橋)	当初予算額	160,000千円
--------	-----------------	-------	-----------

石原南五味塚線（磯津橋）橋梁整備事業

当初予算額 10,000千円

安心して通れる歩行空間づくり

高齢者や障害者にも配慮したバリアフリー歩行空間ネットワークを形成する。

【主な事業】堀木日永線交通安全施設整備事業 当初予算額 50,000千円
道路の維持

道路が安全、円滑、快適に通行できるよう適切な維持補修を図る。

【主な事業】道路維持事業（舗装・側溝等補修）当初予算額 316,903千円

8. 末永・本郷土地区画整理事業について

平成17年度は区域内の全ての建物移転・移設補償を完了するとともに、都市計画道路午起末永線、川原町駅前線の未整備箇所の整備を完了する。また、平成19年度予定の換地処分に向け、街区画地確定測量に着手する。

【主な事業】末永・本郷土地区画整理事業 当初予算額 420,019千円

9. 午起土地区画整理事業について

平成17年度は未移転3件の移転完了を目指し、東工区内の整備については、生活道路網の整備、地下埋設管の移設、宅地造成を順次進める。

【主な事業】午起土地区画整理事業 当初予算額 180,930千円

10. 狭あい道路対策費について

道路後退用地の寄付行為者に対し、助成金・報償金を支出するとともに後退用地の整備工事を行い、生活環境の改善を進める。平成17年度は建築行為等に限定されていた整備対象を拡大して、整備効果の一層の拡大を図る。

【主な事業】狭あい道路対策費 当初予算額 123,514千円

11. 公園整備事業について

公園緑地整備事業の推進やリニューアルについては住民参加を得ながら特色ある公園の創出を図るとともに、愛護活動を推進する。また、街路樹についても維持管理を考慮した更新に努める。

【主な事業】 南部丘陵公園整備事業 当初予算額 92,000千円
街区公園等整備事業 当初予算額 2,000千円

12. 河川事業について

整備する河川を重点化し、十四川で上流域に調整池などの遊水機能をもたせ、雨水流入負荷の軽減を図る。

【主な事業】	準用河川改修事業	当初予算額	114,000千円
	<事業河川 = 米洗川、朝明新川、萱生川>		
	排水対策事業(十四川調整池)	当初予算額	121,000千円
	河川環境整備事業(三滝川)	当初予算額	25,000千円

13. 交通安全対策について

幅広い交通安全教育の推進を図るとともに、効果的な啓発活動を展開し、広範で効率的な交通安全諸対策を推進する。また、交通災害共済の効率的な運営を行う。

【主な事業】	交通安全啓発事業	当初予算額	7,407千円
	交通災害共済事業	当初予算額	173,400千円

14. 財産・施設の管理業務について

市民生活に直結した道路・河川・水路・公園・駐車場等の機能の適正な維持管理及び機能の保全に伴う指導・啓発・許認可業務や境界査定を実施する。

また、未登記道路の解消や、地方分権一括法の制定により国土交通省から譲与を受けた法定外公共物(里道、水路)の管理を行うためのシステム開発及び公図欠落区域内の法定外公共物の譲与申請を行う。

【主な事業】	管理事業費	当初予算額	102,418千円
	境界査定業務費	当初予算額	5,150千円
	未登記道路調査事業費	当初予算額	27,500千円
	法定外公共物特定事業費	当初予算額	13,480千円

15. 公共建築物等の整備について

公共建築物等の整備にあたっては、安全確保はもちろんのこと維持保全経費を含む総費用のコスト縮減、環境負荷の低減、バリアフリー化の推進、既存施設の活用方法等の提案等を行い、だれもが使いやすい公共建築物の整備を行う。

【主な事業】	営繕事務費	当初予算額	3,942千円
--------	-------	-------	---------

16. 市営住宅整備事業について

計画的な改修や耐震補強及び高齢者・障害者向改善により、既存市営住宅の有効活用を図る。また、PFI的手法により大瀬古新町市営住宅の第2期分建替事業を進め、曙市営住宅の建替について検討を開始する。

【主な事業】	大瀬古新町市営住宅建設事業	当初予算額	518,300千円
	市営住宅耐震補強事業	当初予算額	35,000千円
	曙市営住宅建設事業	当初予算額	5,000千円
	高齢者・障害者向け改善事業	当初予算額	9,000千円

下水道部

新年度予算における基本的な方針

下水道事業は、主に市街化区域内の雨水対策事業と污水対策事業を推進しており、大雨による浸水被害の防除、水洗化による生活環境の向上及び川や海などの公共用水域の水質保全を図るため、次のとおり下水道事業を推進します。

1. 雨水整備事業について 当初予算額 2,879,280千円

雨水整備事業については、都市下水路事業及び公共下水道事業により、浸水区域の解消、都市型水害対策を推進します。

【主要指標】

	平成 17 年度整備	平成 17 年度末
雨水整備面積	5 ha	2,873 ha
雨水整備率	0.1 %	49.6 %

【主な事業】 都市下水路事業（朝明都市下水路）

大矢知地区幹線水路整備及び朝明ポンプ場ポンプ設備工事

公共下水道事業

水路整備（富田、大矢知、八郷、橋北、常磐、日永、河原田）

河原田ポンプ場設備工事、雨池ポンプ場設備更新、阿瀬知雨水 1 号幹線工事、中央通り貯留管建設工事

2. 污水整備事業について 当初予算額 3,816,989千円

污水整備事業については、投資効果の高い人口集中地区を中心に事業を進めます。

【主要指標】

	平成 17 年度整備	平成 17 年度末
処理可能区域内戸数	1,750 戸	77,470 戸
処理可能区域内人口	4,850 人	196,530 人
人口普及率	1.6 %	63.5 %

【主な事業】 公共下水道事業

管渠整備（富田、大矢知、八郷、下野、羽津、海蔵、橋北、三重、常磐、川島、桜、日永、四郷、内部、塩浜、河原田、楠）

采女中継ポンプ場建築工事及び設備工事

日永浄化センター焼却炉設備更新工事

3 . 下水道施設の維持管理について

浄化センター、ポンプ場の維持管理については、保守点検及び適切な維持修繕を行い、機能を最大限に発揮させるとともに、効率的な運転に努めます。

管路施設については、管路調査や清掃を臨機に実施するとともに、老朽管対策や不明水対策にも取り組みます。

市立四日市病院

新年度予算における基本的な方針

当院は、公的病院として、より良質な医療を提供し、市民から信頼される患者本位の心のこもった医療を実現するとともに、地域の医療機関との連携を強化しつつ、急性期医療・高度医療の役割を担う地域の中核病院を目指している。

その一環として、療養環境の改善を図るとともに、より一層の医療の効率化により、経営の健全化に努めつつ、医療の高度化・専門化に対応するために、新病棟の増築、5～6人部屋の解消、手術室の増設などの病院施設整備事業の着手、並びに、放射線治療装置や多目的デジタルX線テレビ装置などの最新鋭医療機器を導入する。また、医療の効率化と質の向上に資する電子カルテシステムの開発を継続する。

1. 病院施設整備事業について

当院は、築後26年が経過し、老朽化が進行するなか、5～6人部屋の解消・個室の増室を行うほか、手術室の増設や外来棟などの改修を行うなど、療養環境の改善を図るために、新病棟の増築・既設病棟等の全面改修を行うものであり、本年度は新病棟増築等の実施設計及び託児所整備事業を実施する。

【主な事業】	新病棟増築等工事実施設計事業	当初予算額	50,190千円
		(別途、18年度債務負担行為額)	117,110千円)
	託児所整備事業	当初予算額	43,442千円
		(別途、18年度債務負担行為額)	44,098千円)

2. 医療機器整備事業について

当院の目指す最新の高度・専門医療を提供していく上で必要不可欠な高度医療機器等の整備を図るために、耐用年数を経過した機器の更新等を行う。

【主な事業】	放射線治療装置更新	当初予算額	252,000千円
	多目的デジタルX線テレビ装置更新	当初予算額	79,800千円
	その他医療機器更新等	当初予算額	167,200千円

3. 電子カルテシステム整備事業について

前年度に基本計画書を作成したが、本年度は導入業者選定準備及び電子カルテシステムを利用した当院の運営についての部門別の検討を行う。

【主な事業】	電子カルテシステム整備事業	当初予算額	5,800千円
--------	---------------	-------	---------

収 入 役 室

新年度予算における基本的な方針

公金の運用については、ペイオフの完全実施に伴い、安全を第一により効率的な運用方法を検討、実施するとともに、適正な会計事務執行のための支援策を講じ、会計事務の効率化に努める。

1. 会計管理事業について

昨年度に引き続き、会計事務が適正に行われるよう会計事務研修や実地検査等を実施し、会計事務に関する相談、支援、指導等を強化する。

また、収納事務に関して、納付書の統一及びOCR化の検討を行い、会計事務処理の簡素効率化を推進する。

【主な事業】 会計管理経費 当初予算額 16,169千円

議 会 事 務 局

新年度予算における基本的な方針

議会が市民の代表機関としての役割を果たすとともに、議会に対する市民の関心を高める。

議会運営における見直しを行い、議会の活性化を図るとともに、議会情報の公開に努め、より市民に開かれた議会を目指す。

1. 議会の活性化等について

議会が市民の代表機関として、行政の監視や政策提案等の役割を果たすことができるよう、適法かつ効率的な議会運営を行うとともに、議会の活性化を図る。

【主な事業】	政務調査費	当初予算額	43,680千円
	議会運営費	80,767千円のうち	
	行政視察	当初予算額	19,655千円
	議員パソコン・インターネット事業	当初予算額	2,664千円

2. 市民に開かれた議会について

議会に対する市民の関心を高めるため、市民に開かれた議会を目指し、市民への議会情報の提供を進める。

【主な事業】	議会運営費	80,767千円のうち	
	本会議テレビ放映委託事業	当初予算額	28,605千円
	広報紙等作製事業	当初予算額	9,684千円
	ホームページ作成事業	当初予算額	100千円

監 査 事 務 局

新年度予算における基本的な方針

市の財政が公正かつ効率的に執行されているのか、市行政の実績や成果が住民の福祉と行政水準の向上に寄与しているかどうか重点をおいて監査委員の行う監査事務の補助を行う。

1．定期監査について

財務に関する事務の執行及び経営にかかる事業の管理が最少の経費で最大の効果を挙げているかに留意し、予算の執行及び財産の管理などが適法、適正かつ効率的に行われているかの検証を主眼として行政機構別を実施する。

2．行政監査について

市の事務執行に関し、事務組織及び執行体制、事務処理の手続き方法、事務の執行状況、施設の管理運営、その他行政運営全般について、公正で効率的かつ効果的に行われているかの視点から監査を実施する。

定期監査に平行して、「委託料」、「市単独の補助金」、「時間外勤務の状況」、「原課契約工事の執行状況」、「情報セキュリティの状況」、「要綱」、「要領」、「基準」等の作成状況についての6項目を監査するとともに、これらとは別途にテーマ設定をした監査も行う。

3．その他の監査、検査、審査について

上記のほか、出資団体監査、財政援助団体監査、工事監査を行うとともに、例月出納検査、決算審査、基金運用状況審査を行う。

教 育 委 員 会

新年度予算における基本的な方針

学校教育については、平成 17 年 1 月に策定した「学校教育ビジョン」が基本方針とする「新しい時代をたくましく切り拓いていく子どもの育成」のため、各種施策の効率的な推進を図る。中でも、基礎・基本の定着に有効な方法の一つである 30 人以下で授業が受けられる少人数授業の充実を図るとともに、基礎学力定着・向上事業による取組みを引き続き推進する。また、各学校の創意工夫を生かした教育活動の活性化・特色化を一層充実する一方で、障害のある児童生徒、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援にも取り組む。

安全でよりよい教育環境の整備について、これまで計画的に進めてきた校舎及び体育館の耐震補強は、平成 17 年度で整備を終える。また、PFI 手法による学校施設整備・管理を順次進めるとともに、バリアフリー化等の推進や防犯機能向上のための整備にも引き続き取り組む。さらに、通学路の交通安全施設等の整備についても積極的に取り組む。

生涯学習については、多様な学習ニーズに対応するため、学習情報の提供など、市民が主体的に学べる環境を整えるとともに、民間教育機関との連携を一層深める取組みを行う。また、青少年の健全育成については、学校との連携を強化しつつ、育成と補導に一体的に取り組む、関係機関及び関係団体との協働を図る中で、新しい時代を担う青少年が健やかに成長できるよう、家庭教育の向上、青少年体験活動の促進のほか、非行防止対策など総合的に取り組む。さらに、平成 17 年 3 月末までに策定する「子どもの読書推進計画」をに基づき、自発的な読書活動ができるよう公共施設や学校等に応じた環境整備にも努める。

文化・芸術の振興については、平成 17 年 1 月の文化振興審議会の答申を踏まえ策定する「文化振興ビジョン」に基づき、本市における文化振興施策の再構築を図る中で、多くの市民が、より充実したゆとりとうるおいのある生活ができるよう、「心の豊かさ」や「生きがい」の充実に努める。

スポーツの振興については、年齢や体力に応じて、安全で快適にスポーツに取り組めるよう、総合型地域スポーツクラブの育成などスポーツ環境の整備に努める。

また、文化会館や中央緑地体育館においては、利用者の安全確保と防災拠点としての機能向上を図るため、耐震化を促進する。

人権教育については、これまでの同和教育の実践により積み上げられてきた理念や成果を重要な柱と位置づけ、学校教育・社会教育の場においてさらなる推進に努める。

1. 「確かな学力」をはぐくむ事業について

小・中学校すべての学年において、確かな学力の向上と学習規律と生活規律の確立のため、よりきめ細やかな指導の実施が可能となる教員加配を行うとともに、基礎学力の到達度を客観的に把握し、各学校に指導方法等の改善を提案する。

さらに、義務教育9年間の教育活動の連続性を確保・充実する方策等の調査・研究や、小中学校の「学びの一体化」の推進、カリキュラム開発を行うほか、子どもたちの読書活動や学習活動を支援するため、13名の司書を小中学校に巡回派遣する。

【主な事業】	30人学級基礎学力向上事業	当初予算額	195,406千円
	基礎学力定着・向上事業費	当初予算額	6,604千円
	小中学校一貫教育推進事業	当初予算額	965千円
	学校づくり支援事業費	当初予算額	10,358千円
	新 学校図書館いきいき推進事業	当初予算額	50,000千円

2. 生徒指導・いじめ・不登校対策および特別支援教育について

いじめ・不登校や、軽度発達障害等の児童生徒の対応や指導体制、相談体制を整備し、専門的な相談のできるスクールカウンセラー及び心の教育相談員の配置について拡充を図る一方で、不登校児童生徒については、適応指導教室、第2適応指導教室等における受け入れと支援を充実させる。

また、障害のある児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別な教育的支援を推進するため、保育園・幼稚園・小学校・中学校が連携した系統的な相談支援体制の構築を図るほか、小中学校の特別支援教育について助言および連絡調整を行なう「地域特別支援コーディネーター」を配置する。

【主な事業】	教育相談事業	当初予算額	22,319千円
	不登校対策事業	当初予算額	1,600千円
	第2適応指導教室事業	当初予算額	4,012千円
	適応指導教室事業	当初予算額	4,632千円
	新 特別支援教育推進事業	当初予算額	5,430千円

3. 安全でよりよい教育環境の充実を図る学校施設等の整備について

PFI手法による小中学校4校の改築改修工事は、平成17年度に2校の整備を終え、残り2校については、引き続き平成18年度に向けて事業を進める。

また、安全で安心な教育環境の充実を図るため、校舎等の耐震補強については、平成17年度で整備を終えるとともに、引き続き衛生管理強化のための給食室改修事業や段差解消、階段の手摺設置等のバリアフリー化整備を計画的に実施する。

さらに、子どもたちの通学時の交通安全確保のため、学校、PTA、地元自治会等

の要望に沿ったカーブミラーなどの通学路の交通安全施設等を整備する。

【主な事業】新 P F I 学校施設整備・管理事業

	当初予算額	1,997,588千円
新 楠小学校改築事業費	当初予算額	18,100千円
耐震補強整備事業	当初予算額	297,400千円
給食室改修事業	当初予算額	116,698千円
バリアフリー化整備事業	当初予算額	163,500千円
学校施設整備基金積立	当初予算額	100,112千円
新 通学路交通安全施設整備事業	当初予算額	30,000千円

4. 国際理解教育の推進について

「英語教育の充実」を図るため、小学校3年生以上で年間10時間の英語活動を、中学校英語教育では週1時間のネイティブによる指導が可能となるよう小中学校に英語指導員を派遣する。また、年々増加する来日外国人園児児童生徒に対し、一層適切な日本語指導等が可能となるよう適応指導員の派遣の充実を図る。

【主な事業】	英語指導員経費	当初予算額	56,271千円
	小学校英語充実事業	当初予算額	27,575千円
	来日外国人園児児童生徒教育充実事業	当初予算額	21,120千円

5. 文化振興、文化財関係について

文化振興ビジョンに基づき、その実施計画を策定するとともに、併せて市民の芸術文化活動を支援するほか、芸術・文化の担い手の育成や鑑賞の場を提供する。また、市民の文化活動の拠点の一つである文化会館の耐震化工事に向けた設計を進めるとともに、老朽化に伴う設備等の更新に努める。

文化財については、貴重な文化遺産を次世代に継承するため、その適正な保存と維持管理に努める一方で、北勢バイパス建設に伴う久留倍遺跡の発掘調査を継続するほか、埋蔵文化財の利活用のため、展示や学校教育との連携を積極的に図る。

なお、文化振興に関する施策については、平成17年度から市長部局において総合行政として展開する。

【主な事業】	文化振興ビジョン調査事業	当初予算額	200千円
	文化会館耐震化事業	当初予算額	20,000千円
	文化会館施設整備事業	当初予算額	70,000千円
	埋蔵文化財発掘調査受託事業	当初予算額	81,248千円

6. 家庭・地域の教育力の向上と青少年の健全育成について

家庭や地域社会における教育力の向上を支援し、市民と協働した青少年の健全育成を推進する。家庭教育に関する学習機会の提供と啓発活動を行うほか、地域社会における青少年育成活動の促進、非行防止対策などの取組みを展開する。

なお、平成17年度には、新規にメディアを活用して家庭教育の啓発を図る事業、青少年の社会性や自主性を育てる体験活動を促進する事業に取り組む。

【主な事業】	家庭教育講座委託事業	当初予算額	1,575千円
	新家庭教育啓発事業	当初予算額	1,690千円
	新青少年体験活動促進事業	当初予算額	1,115千円
	学童保育補助事業	当初予算額	62,669千円
	少年自然の家活動事業	当初予算額	1,136千円

7. 生涯学習機会の提供について

市民の多様な学習ニーズに応えるため、市民の自主的な企画運営による事業を行うほか、民間の教育機関も含めた学習情報の収集、提供を行う。

なお、平成17年度からは地域社会づくり事業と一体化し、市長部局において、施策を総合的に展開していく。

博物館においては、郷土の歴史を後世に正確に伝えるとともに、郷土を大切にすることをはぐくむため、資料の収集・保存・活用及び調査研究を進め、その成果を展示や投映などの教育普及活動により示す。

図書館においては、市民サービスの向上を図るため、インターネットによる図書の貸出予約により、利用者が来館することなく図書を予約できるシステムを構築する。

【主な事業】	市民大学経費	当初予算額	5,779千円
	生涯学習情報提供事業	当初予算額	870千円
	生涯学習振興事業（公民館）	当初予算額	6,290千円
	博物館特別展等開催事業	当初予算額	59,753千円
	プラネタリウム運営事業	当初予算額	13,819千円

8. スポーツ環境の整備について

総合型地域スポーツクラブの育成について、平成17年度に保々地区でモデルクラブを立ち上げ、運営を支援するとともに、次地区の候補である大池中学校区での啓発活動に努めるほか、中央緑地体育館の耐震補強工事を行い、地震時における施設利用者の安全確保と地域の防災拠点としての機能向上を図る。

【主な事業】	総合型地域スポーツクラブ育成事業	当初予算額	3,500千円
--------	------------------	-------	---------

新中央緑地運動施設整備事業	当初予算額	288,000千円
新楠緑地体育館整備事業	当初予算額	20,000千円

9. 人権・同和教育について

平成15年3月に「人権教育・啓発基本方針」の策定を行い、「よっかいち人権施策推進プラン」の構築を進めているところである。

学校人権教育においては、各学校・園の人権教育の充実とその中心となって推進するリーダーの育成を行い、人権教育のさらなる推進に努める。

社会人権教育においては、市民及び団体の自主・自立を促し、「市民との協働」を今後の重要課題の一つとして位置付け、すべての人の人権が尊重される社会が実現するよう、あらゆる人が地域、家庭、職場等で人権教育を享受できる取組みを進める。

なお、平成17年度には、市民にわかりやすいように組織機構の見直しを行い、事務事業の再構築を行う。

【主な事業】 人権指導者・リーダー育成充実事業

当初予算額 4,640千円

自主人権活動支援・充実事業

当初予算額 5,423千円

消 防 本 部

新年度予算における基本的な方針

災害による被害の軽減という任務が課せられているなか、新潟県中越地震をはじめ、全国各地で風水害や大規模かつ特異な災害が発生するとともに、東海地震、東南海・南海地震の切迫性も指摘されており、各防災関係機関と連携、緊急消防援助隊訓練の実施等、危機管理の徹底、さらには基本的な業務である消防、救助、救急活動の効率化及び高度化を進める必要がある。

このことから、未来・将来から現在を見る視点に立って時代を先取りした行政運営を行い、住民の期待に応えていく。

1．大規模災害対策事業について

災害に強いまちづくりのため、訓練を通じて自主防災組織の自主的な取組みの支援を行うとともに、地震災害時の水利確保対策として耐震性貯水槽を設置し、発生が予想される火災の延焼阻止を効率的に行なうものとする。

この他、既に整備されている緊急消防援助隊が災害時に有効に機能するよう県内あるいは県域をこえた合同訓練を実施し、広域応援体制を充実する。

【主な事業】 耐震性貯水槽整備事業 当初予算額 71,700千円

2．消防車両等の更新事業について

中消防署及び西分署に高規格救急車を更新整備するとともに、神前消防分団普通消防車を更新整備し、装備・機能の近代化・省力化を図り消防活動を効率化し火災等災害時の被害の軽減に努める。

また、コンビナート災害対策として、大容量泡放射砲を中署及び北署に配備して大規模タンク火災の早期鎮圧を図る。

この他、沿岸防災救助ボートを導入し、消防艇で乗り入れできない浅瀬において有効水難救助活動などを実施する。

【主な事業】 消防車両更新事業 当初予算額 87,700千円
消防活動機器整備事業 41,100千円

3．救急救命士等資格者の養成及び応急手当普及啓発推進事業（AED等の導入）

(1) 救急救命士及び救急 課程資格者の養成を継続して進め、救命率の向上等救急業務の高度化を図る。

(2) 非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が、平成16年7月1日から認められたことから、救急救命士以外の職員がAEDを活用した救命活動がで

きるよう研修を行なう。

また、市民の集まる市の施設に除細動器を設置するとともに、これまで一般市民に対して実施してきた応急手当講習にAEDの取扱い講習を加えこれらを推進していくため、講習用資機材（AEDトレーナー）の導入を行なう。

【主な事業】	福利研修費	当初予算額	20,258千円のうち
	救急救命士等養成事業	当初予算額	5,395千円
	救急関係事業活動費	当初予算額	10,048千円のうち
	AED等導入事業	当初予算額	4,874千円

水 道 局

新年度予算における基本的な方針

水需要は、引き続き減少傾向にあることに加え、大口使用者の需要の減少が一段と進む厳しい状況が想定されるため、「健全財政の堅持」と「安定・安全給水の向上」を目標に、新たな上下水道組織において、これまで以上に事業運営の効率化に努める。そのため、継続的な経営改革に積極的に取り組むとともに、施策を厳選して実効性を確保することを基本に、課題の解消に必要な事業や水道水準を高めていくための事業等を重点に進める。また、環境対策の一助として、小水力発電所の建設に着手する。

1. 水源確保・安定給水について

地下水は公水であるとの認識に立って、公共の福祉のため、低廉で良質な水道水を将来にわたり安定的に供給することを目的に、地下水の汲み上げを規制する（仮称）「四日市市水道水源保護条例」の制定を目指す。また、安定給水と適正水圧を確保するため、配水管網等の整備を推進するほか、漏水防止等の対策として経年管を更新する。さらに、大規模地震に備えて配水池等基幹施設の耐震化を進めるとともに、楠地区に耐震型緊急貯水槽を設置する。

【主な事業】	地下水涵養調査事業	当初予算額	1,800千円
	第1期水道施設整備事業	当初予算額	1,378,636千円

2. 水質管理について

家庭等へ引き込む給水管の一部に使用されている鉛管を解消し、水質の一層の安全性を確保するために鉛給水管の取り替えを推進する。

【主な事業】	鉛給水管布設替事業	当初予算額	150,000千円
--------	-----------	-------	-----------

3. 環境対策について

水道事業は、多くの電力を消費する環境負荷の大きな事業であり、環境への影響を低減するための取り組みは、今後ますます重要になる。そのため、水道管内の水圧を利用した小水力発電を導入して「環境にやさしい水づくり」を目指し、平成19年度の稼働を目標に高岡配水池小水力発電所の建設に着手する。

【主な事業】	小水力発電事業	当初予算額	3,810千円
		別途：債務負担行為限度額	158,000千円

主な事業の見直し調書

(1)平成17年度予算において減額したもの(廃止事業を含む)

【議会事務局】

所 属	議事 課			17年度予算額	28,605	千円
事業名	本会議テレビ放映委託事業			16年度予算額	32,865	千円
				差 引	4,260	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	視聴者数 (市民アンケート)	50%	三重TV 43% CTY 26%	平成15年度は三重テレビとCTYの放映委託事業を行っており、本会議の傍聴者だけでなく市民の議会活動に対する理解と関心が高まるように努めた。		
予算への反映内容		平成16年度当初予算において三重テレビとCTYであった本会議テレビ放映事業を、当年度6月議会からCTYに一本化し、さらに9月議会から固定カメラを設置し予算減に努めた。				

【市長公室】

所 属	広報情報 課			17年度予算額	6,387	千円
事業名	インターネットによる情報発信事業			16年度予算額	9,106	千円
				差 引	2,719	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	アクセス件数	6,000,000	7,772,502	インターネットの急激な普及によりアクセス件数は目標を大きく上回った。HPのトップ画面を見やすく変更したが、今後も検索しやすく、便利なHPとなるよう努めていく。		
予算への反映内容		IT推進課の事業として、各課がHPに掲載する情報を直接登録するコンテンツマネジメントシステム(CMS)が平成17年度から開始する。それに伴い、CMSと同様に各課から入力できるが、文字情報しか入力できず、ビジュアル的にも劣っている従来からのリモートメンテナンスシステムを廃止する。				

所 属	IT推進 課			17年度予算額	0	千円
事業名	市民のIT化支援事業			16年度予算額	6,738	千円
				差 引	6,738	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	市民情報プラザ来場者数	5,000人以上	9,649人	当施設は先進的なIT機器等の展示から、初歩のIT利用支援へと転換し運用を行ってきたが、講座開設から1年を経過した頃から利用者が減り始め、一定の役割を終えたことと当施設が3年間をめぐりに設置したことから、平成16年度をもって廃止する。		
予算への反映内容		平成17年度予算に計上しない。				

【総務部】

所 属	防災対策 課			17年度予算額	103,200	千円
事業名	耐震化促進事業			16年度予算額	112,500	千円
				差 引	9,300	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	木造住宅の耐震診断の実施	30,000戸 (10年間)	701戸	初年度としての目標は達成できた。		
予算への反映内容		市内3万戸の旧耐震基準住宅について、年間3000戸の耐震診断計画をしていたが、応募がともなわず、1000戸に抑え、一時避難所ともなる集会所等の耐震診断の実施により、意識啓発をおこなう。				

所 属	防災対策 課			17年度予算額	2,920	千円
事業名	防災計画等策定事業費			16年度予算額	6,879	千円
				差 引	3,959	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	防災マニュアルの作成・ 訓練を実施する	マニュアルの作成 と訓練の 実施	マニュアルの作成 と訓練の 実施	マニュアルの作成は進んでいるが各部マニュアルの完成度にバラツキがある。		
予算への反映内容		電子マニュアルの作成が完了し、マニュアルの成果測定のための 図上訓練を続けるとともに、電子マニュアル費用について削減す る。				

【市民部】

所 属	市民生活 課			17年度予算額	579	千円
事業名	安全なまちづくり推進事業			16年度予算額	1,025	千円
				差 引	446	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	安全なまちづくり基本計 画に基づく支援事業数	-	-	平成16年度に創設した「個性あるまちづくり 支援事業」では自主防犯活動を行う13団体 から応募があり、うち12団体へ助成を行っ た。		
予算への反映内容		安全なまちづくり基本計画の策定に伴い、「安全なまちづくり推進協議会」 の開催を縮小し、実質的な協議機関である「四日市地域防犯協議会」を 中心に進める。(平成16年度より実施中)なお、防犯活動団体への支援は 「個性あるまちづくり支援事業」の充実により対応。				

所 属	市民生活 課			17年度予算額	163,638	千円
事業名	連絡員経費			16年度予算額	172,182	千円
				差 引	8,544	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	情報提供数	155	143	自治会等を通して、情報の提供を図ったが、組回 覧文書の精査を行ったため、目標を下回った。		
予算への反映内容		プライバシーの保護の観点から、個人あて文書については、郵送 化を図っており、連絡員の取り扱う文書量が減少しているところか ら、1世帯あたりの単価の見直しを行う。				

【保健福祉部】

所 属	介護・高齢福祉 課			17年度予算額	55,723	千円
事業名	老人福祉センター管理運営事業			16年度予算額	62,206	千円
				差 引	6,483	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	老人福祉センター等利用者数 (中央老人福祉センター、西 老人福祉センター、西南総合 福祉センター、あさけプラザ)	176,000人	173,877人	介護予防事業を推進するなかで、活動拠点である中央老人福 祉センター・西老人福祉センターの管理を市社会福祉協議会 に委託した。また、西老人福祉センターの風呂の脱衣場へエア コンを設置するなど、利用拡大に努めた結果、利用者は4施設 で約千人増した。		
予算への反映内容		中央老人福祉センター、西老人福祉センターの管理運営委託費を見直し した。				

所 属	介護・高齢福祉 課			17年度予算額	13,134	千円
事業名	社会福祉協議会運営費補助金			16年度予算額	14,750	千円
				差 引	1,616	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	老人福祉センター等利用者数 (中央老人福祉センター、西 老人福祉センター、西南総合 福祉センター、あさけプラザ)	176,000人	173,877人	介護予防事業を推進するなかで、活動拠点である 西南総合福祉センターの運営費補助を行ったが、 その利用者数は平成14年度27,690人から25,281 人と減った。		
予算への反映内容		市社会福祉協議会へ行っている西南総合福祉センターの運営費補助を見 直した。				

所 属	介護・高齢福祉 課			17年度予算額	15,000	千円
事業名	ふれあいいいきサロン推進事業補助金			16年度予算額	20,000	千円
				差 引	5,000	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	ふれあいいいきサロン数	85カ所	72カ所	指標である高齢者が気軽に集える場である「ふれあいいいきサロン」数は目標値を下回ったが、実施回数は平成14年度の505回から969回へと大幅に増えた。(市社会福祉協議会調べ)		
予算への反映内容		平成16年度は「ふれあいいいきサロン設立補助事業」とその運営費も含めた交流事業への補助金として「後期高齢者社会参加促進事業」を実施した。平成17年度はこの2つの事業を「ふれあいいいきサロン推進事業補助金」として統合する。				

所 属	介護・高齢福祉 課			17年度予算額	125,276	千円
事業名	三河介護認定審査会費			16年度予算額	130,963	千円
				差 引	5,687	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	認定審査会委員・認定調査員への研修時間	19時間	19時間	迅速で公正な要介護認定を行うことを目標にその業務に関わる認定審査会委員、認定調査員への研修を行った。 (平成15年度審査件数15,834件)		
予算への反映内容		事業費の財源の一部である三重郡3町からの負担金は、従来は高齢者人口の按分のみで算定していたが、応分の負担を求めることから、均等割(平成17年度は5%、18年度は10%)を導入した。また、実態に則し高齢者人口から審査件数に応じ按分することで、各町負担額を見直した。(従来方式であれば、平成17年度の3町負担金は21,367千円であるが、今回の見直しで23,316千円となった)				

所 属	保 護 課			17年度予算額	23,086	千円
事業名	法外扶助			16年度予算額	28,800	千円
				差 引	5,714	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	生活保護関連施策の充実(1世帯あたりの金額)	11,149円	9,206円	財政的理由により支出金額は減少しているが支出項目の検討により、より給付効果が出るよう努めた。		
予算への反映内容		法内扶助にもある歳末見舞金を在宅 5,000円 2,500円、入院 3,000円 2,000円に変更した。				

所 属	保健センター			17年度予算額	44,706	千円
事業名	歯科医療センター管理運営費			16年度予算額	50,351	千円
				差 引	5,645	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	障害者歯科診療患者数	1,160人	1,206人	一般の歯科医院で治療が困難な障害者の歯科治療の確保に努めた。		
予算への反映内容		5月連休と盆の休日診療を廃止した。歯科医師会への委託内容を見直し、経費を削減した。				

所 属	同 和 課			17年度予算額	2,592	千円
事業名	同和对策費補助金			16年度予算額	3,295	千円
				差 引	703	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	自治会の自立度 平成13年度補助金からの脱却割合	25%	28%	自治会の自立促進に合わせて補助金の削減を行い、一般施策への円滑な移行を進めた。		
予算への反映内容		自治会の自立促進に合わせて補助金の削減を行う。				

所 属	保健福祉 課			17年度予算額	14,239	千円
事業名	福祉医療協力金四日市医師会補助金			16年度予算額	15,200	千円
				差 引	961	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	活動者数	466	466	団体との連携を図り、福祉医療費の適正な助成を行うことができた。		
予算への反映内容		福祉医療費助成への協力、母子健診、乳幼児健診、予防接種、学校保健、成人検診、介護保険、災害時の医療など本市の医療・保健事業における各分野の専門家の派遣や、各事業における各医療機関での統一した事務処理の調整などの協力を受けている。予算は楠町分を合算のうえ1割減額した。				

所 属	保健福祉 課			17年度予算額	4,507	千円
事業名	福祉医療協力金四日市歯科医師会補助金			16年度予算額	4,800	千円
				差 引	293	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	活動者数	141	141	団体との連携を図り、福祉医療費の適正な助成を行うことができた。		
予算への反映内容		福祉医療費助成への協力、歯科医療センターでの障害者歯科診療事業、歯周病検診の実施、学校歯科保健事業や乳幼児健診などの専門家の派遣や、各医療機関での統一した事務処理の調整などの協力を受けている。予算は楠町分を合算のうえ1割減額した。				

所 属	保健福祉 課			17年度予算額	907	千円
事業名	福祉医療協力金四日市薬剤師会補助金			16年度予算額	1,008	千円
				差 引	101	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	活動者数	228	228	団体との連携を図り、福祉医療費の適正な助成を行うことができた。		
予算への反映内容		福祉医療費助成への協力、薬の相談、健康フェスティバルなどの地域医療活動への専門家の派遣や各薬局への統一した事務処理の調整などの協力を受けている。予算は1割減額した。				

【商工農水部】

所 属	商工 課			17年度予算額	0	千円
事業名	経営安定支援資金保証料補給金			16年度予算額	3,742	千円
				差 引	3,742	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	制度融資の内容検討	年1回	年2回	市の制度融資は国・県等他の融資制度との比較優位性を失っている点もあり、貸付件数が伸び悩んでいる。制度の見直しを行う必要がある。		
予算への反映内容		県制度の保証料補給を廃止すると同時に、市制度の改正(手続きの簡素化・迅速化 連帯保証人の減等)を予定。				

所 属	商工 課			17年度予算額	0	千円
事業名	小規模事業資金保証料補給金			16年度予算額	8,713	千円
				差 引	8,713	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	制度融資の内容検討	年1回	年2回	市の制度融資は国・県等他の融資制度との比較優位性を失っている点もあり、貸付件数が伸び悩んでいる。制度の見直しを行う必要がある。		
予算への反映内容		県制度の保証料補給を廃止すると同時に、市制度の改正(手続きの簡素化・迅速化 連帯保証人の減等)を予定。				

所 属	けいりん事業 課			17年度予算額	192,406	千円
事業名	経営改善事業(広告宣伝費)			16年度予算額	259,132	千円
				差 引	66,726	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	広告宣伝経費	200,740 千円	231,831 千円	有効的な広告宣伝について考察することが必要。		
予算への反映内容		四日市競輪開催の周知を図るため、広告宣伝経費の費用対効果を検証し、さらに効果が期待できる手法を実施する。				

所 属	けいりん事業 課			17年度予算額	39,282	千円
事業名	経営改善事業(ファン対策経費)			16年度予算額	53,775	千円
				差 引	14,493	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	ファン対策経費	67,740 千円	60,045 千円	目標を上回ったが、固定客及び新規客確保のため、今後もさらに費用対効果について検証することが必要。		
予算への反映内容		ファンバスの運行については、利用者数の調査結果からファンバスの便数を削減する。				

所 属	食肉センター食肉地方卸売市場			17年度予算額	63,964	千円
事業名	食肉センター食肉市場施設管理業務委託			16年度予算額	71,964	千円
				差 引	8,000	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	委託料	78,200 千円	71,000 千円	当該施設管理に必要な管理体制に未だ達していないため、引き続き強力に指導する。		
予算への反映内容		(1)委託項目の内、施設管理データ記録・管理については専門管理業者に別途委託する事で本委託業務から除外するとともに、別途委託する額についても効率化を図ることで縮減する。 (2)本年度中の法律改正により、豚廃棄物は飼料原料として有効利用できるようになる。そこで、委託項目の内、廃棄物処理については施設に改良を加えることで処理対象廃棄物の量を減量し、廃棄物処理委託額を以後経年に渡り減額する。				

【環境部】

所 属	生活環境 課			17年度予算額	0	千円
事業名	し尿海洋投棄委託事業			16年度予算額	8,289	千円
				差 引	8,289	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	海洋投棄量	3500kl	1250kl	し尿の海洋投棄は大幅に減少し、当初の目標を大きく上回った。平成19年2月の法規制前に全廃する。		
予算への反映内容		し尿・汚泥処理を全量陸上処理とすることにより、海洋投棄の費用が削減される。				

【都市整備部】

所 属	都市計画 課			17年度予算額	0	千円
事業名	国道477号(四日市～竜王間)整備促進規制同盟会負担金			16年度予算額	150	千円
				差 引	150	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	地元及び関係機関との事業調整、道路整備促進期成同盟会活動	整備促進要望の実施	国土交通省、三重・滋賀地元国会議員へ要望	国道477バイパスの整備については、進展をみているものの、三重・滋賀を結ぶトンネルの整備は現実性がなく、滋賀県との同盟会は活動の意義が薄れた。		
予算への反映内容		平成4年度に発足した当同盟会は、第二名神高速道路の整備等、新たな道路ネットワークの形成や三重、滋賀を結ぶトンネル整備の費用対効果を考慮し、平成16年9月に解散を行ったため、本事業を廃止する。				

所 属	管理 課			17年度予算額	2,487	千円
事業名	交通安全啓発推進費			16年度予算額	10,000	千円
				差 引	7,513	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	加入率・相談件数	23%以上、600件未満	21.1%、633件	死者数は18人から14人に減少したが、交通事故発生件数は増加傾向にあり引き続き啓発等を行っていききたい。		
予算への反映内容		市民の交通安全意識の高揚をさらに図るため啓発事業の強化は必要であるが、保、幼、小、中(1年のみ)で配布している「交通安全副読本」については見直しを行い、その代替として交通安全教育ビデオを配布することとした。 また、出前講座の積極的利用を促すため、市のみならず関係機関、団体の実施する講座も網羅したメニュー表を作成する。				

所 属	管理 課			17年度予算額	4,900	千円
事業名	四日市市交通安全協議会補助金			16年度予算額	6,000	千円
				差 引	1,100	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	加入率・相談件数	23%以上、600件未満	21.1%、633件	死者数は18人から14人に減少したが、交通事故発生件数は増加傾向にあり引き続き啓発等を行っていききたい。		
予算への反映内容		協議会構成団体のうち財政基盤の強固な交通安全協会3団体及び自家用自動車協会3団体から財政的協賛を得て市補助金を削減する。 また、補助金交付要綱についても早急に制定する。				

【教育委員会】

所 属	学校教育 課			17年度予算額	31,914	千円
事業名	学校図書館図書整備事業			16年度予算額	47,554	千円
				差 引	15,640	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	蔵書数	45万冊	44万冊	学校図書館資源共有型モデル地域事業の推進に伴い、学校図書の整理等も実施したため一時的に図書数が低下した。しかし徐々に整備数を充実させてきている。		
予算への反映内容		図書関連予算については、「学校図書館いきいき推進事業」などの新規ソフト事業の充実を図ることとした。				

所 属	教育センター 課			17年度予算額	254,978	千円
事業名	教育情報通信システム事業費			16年度予算額	300,344	千円
				差 引	45,366	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	教職員へのパソコンの活用に関するアンケートによる満足度	75%	73%	教育情報通信システムの保守等により、コンピューターリテラシーについては基本操作の技術向上が図れた。また、学校ホームページについては全小中学校に開設することができた。		
予算への反映内容		中学校のコンピュータ機器の更新に際し、機器等を厳選するとともに、更新時期を9月から1月へと4ヶ月間遅らせることにより予算の大幅な減額を計った。				

所 属	人権・同和教育 課			17年度予算額	0	千円
事業名	市域団体人権活動支援事業			16年度予算額	900	千円
				差 引	900	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	市域人権活動団体数	9団体	2団体	各団体単独(町単位)での人権学習活動は、他の団体、協議会と合同で開催することが多いため、他施策見直しと併せて補助制度を見直した。		
予算への反映内容		平成15年度廃止した同和地区各種団体運営費のリニューアルとして、全市を対象にした各町単位の団体学習を目的とした補助金を新設したが、館所事業、各地区同推協活動の充実により人権教育を推進したい。				

所 属	生涯学習 課			17年度予算額	0	千円
事業名	家庭教育講演会開催費			16年度予算額	382	千円
				差 引	382	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	家庭教育講演会参加者数	370人	350人	参加者数は当初目標を下回ったものの、概ね目標水準に達した。年1回のイベント的な講演会によるPR効果を見直す必要がある。		
予算への反映内容		年1回のイベント的な講演会によるPRから、市民参加・メディア活用 of 家庭教育啓発事業に変更する。(廃止事業)				

所 属	生涯学習 課			17年度予算額	0	千円
事業名	青少年ボランティア活動促進事業費			16年度予算額	1,007	千円
				差 引	1,007	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	親子ふれあいイベント来場者数	4,500人	5,000人	来場者数は増加し、当初目標を上回った。青少年のニーズ動向から見直す必要がある。		
予算への反映内容		教育委員会の主催事業から、市民企画講座と市民参加フォーラムの青少年体験活動促進事業に変更する。(廃止事業)				

所 属	博物館			17年度予算額	12,831	千円
事業名	季節番組・特別番組(プラネタリウム運営)			16年度予算額	16,509	千円
				差 引	3,678	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	観覧者数・収支比率	19,800人・ 1:3.5	22,607人・ 1:2.1	夏のキャラクター番組が人気を博し、観覧者数が増加するとともに、収支の面でも番組の自主制作比率を高めて経費を削減し、大幅に改善した。		
予算への反映内容		これまでの大人向け、家族向けの2番組編成に星占いの星座を毎月取り上げる星座巡礼を加えて3番組編成とする。				

(2)平成17年度予算において増額したもの(新規事業を含む)

【総務部】

所 属	防災対策 課			17年度予算額	13,300	千円
事業名	自主防災組織活性化事業			16年度予算額	9,200	千円
				差 引	4,100	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	防災活動・技術習得ができる	指導啓発回数 1回	連合組織 1回	平成16年度からの事業 平成16年度防災対策課予算7,000千円 消防本部予算 2,200千円		
予算への反映内容		地区自主防災組織の結成が進み、自主防災組織の結成率は向上した。また、このことにより個々の自主防災組織の資機材補助要望に対応するため予算増額を実施したい。				

所 属	職員研修所			17年度予算額	8,271	千円
事業名	派遣研修(視野を広げ指導力を養成する研修)			16年度予算額	5,064	千円
				差 引	3,207	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	研修受講者の理解度・受講満足度(5点満点評価による平均値)	4.0以上	4.1	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)等へ職員を派遣した結果、その受講満足度は4.1であった。また、自治大学校等への派遣研修修了者に研修講師の機会を設け、内部講師の養成に努めた。		
予算への反映内容		人材育成基本方針に掲げる職員の人材像(アカウンタビリティを担う職員等)を実現するため、外部教育機関へ積極的に職員を派遣し、その成果(研修効果)を発揮させることにより職場の活性化を図り、市民の信頼向上に努める。				

【市民部】

所 属	市民生活 課			17年度予算額	76,000	千円
事業名	地域社会づくり総合事業費補助金			16年度予算額	61,534	千円
				差 引	14,466	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	地区単位の地域団体の事務局延べ設置地区数	23地区	23地区	全地区市民センターに団体事務局を設置。地域コミュニティー活動の拠点として事務局職員のスキルアップに取り組み、住民主体の地域社会づくりをより一層促進する。		
予算への反映内容		財政部所管の納税奨励金を統合し、より一層、地域特性に応じた補助金の有効活用を目指す。				

所 属	市民生活 課			17年度予算額	33,500	千円
事業名	地区市民センター住民運営推進事業			16年度予算額	12,000	千円
				差 引	21,500	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	地域マネージャー配置予定数	平成18年度23地区	平成16年度4地区	平成16年度より、4地区市民センター(中部、常磐、日永、大矢知)に地域マネージャーとして民間人を登用した。		
予算への反映内容		平成17年度は新たに8地区において地域マネージャーの導入を図り、各地区の個別課題に関して、民間の発想を活かした住民主体の地域社会づくりをより一層促進する。				

所 属	市民生活 課			17年度予算額	15,900	千円
事業名	個性あるまちづくり支援事業			16年度予算額	10,000	千円
				差 引	5,900	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	当事業活用団体との勉強会	平成17年度20回	平成16年度(見込み)15回	平成16年度に創設した当事業は、63団体からの応募があり、うち48団体へ助成を行ったところであり、市民活動に対する支援策の拡充が必要である。		
予算への反映内容		実績より、補助率、上限額の見直しを行った(9/10,200万円上限上限100万円、50万円まで9/10、50万円超 2/3)。また、防犯関係については、300万円特別枠を設置して対応するとともに、市民活動ファンドとの整理を行った。				

所 属	市民生活 課			17年度予算額	4,100	千円
事業名	市民活動ファンド出捐金			16年度予算額	100	千円
				差 引	4,000	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	NPO法人数	40団体	46団体	これまで、4年間で36団体へ助成を行ってきた市民活動ファンドであるが、原資の減少からその継続が課題となっている。しかしNPO育成の観点から「個性あるまちづくり支援事業」とのすみ分けやファンドによる支援策継続の検討が必要。		
予算への反映内容		平成12年度に市民の寄付等により創設された公益信託制度による市民活動ファンドを有効活用していくため、新たに市費を投入する。				

所 属	市民 課			17年度予算額	86,245	千円
事業名	戸籍住民基本台帳事務			16年度予算額	73,405	千円
				差 引	12,840	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	証明発行時間	平成18年度10分	20分	ピーク時における証明発行時間の短縮に努めた。		
予算への反映内容		平成16年度において証明発行時間を15分に短縮し、さらに平成17年度は13分を目標とし、窓口の民間委託化を進め、無駄のない効率的な窓口を目指す。				

【保健福祉部】

所 属	児童福祉 課			17年度予算額	82,581	千円
事業名	特別保育等充実事業(延長保育拡充)			16年度予算額	66,510	千円
				差 引	16,071	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	保育所延長保育事業	12園	12園	多様化する保護者の勤務時間や通勤時間等に対応するために11時間の開所時間を超えてさらに延長して保育を実施する民間保育園12園に支援することを目的として、助成した。		
予算への反映内容		民間保育園への補助金を充実するとともに、延長保育実施施設数を増設し、さらに保護者のニーズに応える。 実施保育園 H16 12園 H17 14園				

所 属	児童福祉 課			17年度予算額	2,755	千円
事業名	子育て支援センター事業の拡充			16年度予算額	2255	千円
				差 引	500	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	実施施設数	7施設	7施設	橋北子育て支援センターをはじめ、7か所の子育て支援センターでの子育て支援や、公私立保育園でのあそぼう会を実施するなど、楽しんで子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行った。		
予算への反映内容		平成16年度末に策定予定の「四日市市次世代育成戦略プラン」において、平成21年度までに子育て支援センターの3施設増設を盛り込む予定であり、平成17年度に1施設(海蔵保育園)を新たに指定施設として事業を実施する。				

所 属	児童福祉 課			17年度予算額	1,900	千円
事業名	保育所民営化推進事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	1,900	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	市立保育園の民営化	検討する	検討	平成15年度には「就学前教育検討委員会」の報告書を踏まえ、民営化計画案の検討を行った。		
予算への反映内容		市立保育園の民営化のため、平成16年度に立案した「保育園民営化計画」の市民への周知に関する費用及び移管先決定のための選定委員会に関する費用について計上する。				

所 属	介護・高齢福祉 課			17年度予算額	314	千円
事業名	寿楽園民営化事務事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	314	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	寿楽園の民営化	検討する	検討	他市の事例研究を行うなど、民営化について検討した。		
予算への反映内容		平成18年4月から民営化することを目標として、選定委員会委員の報償費を計上する。				

所 属	障害福祉 課			17年度予算額	376,297	千円
事業名	知的障害者更生援護施設事務事業(通所)			16年度予算額	339,171	千円
				差 引	37,126	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	授産施設・小規模作業所数	19施設	19施設	授産施設や小規模作業所を整備し、一般就労が困難な人の福祉的就労・日中活動を支援した。		
予算への反映内容		重度重複障害者が身近な通所授産施設を利用できるよう市単独の重症心身障害者加算を行い、日中活動や社会参加の促進を図る。				

所 属	障害福祉 課			17年度予算額	10,016	千円
事業名	障害児デイサービス(相互利用)事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	10,016	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	デイサービス実施施設数	27施設	28施設	身体障害者デイサービス等の実施施設を整備し、社会参加や日中活動を促進した。		
予算への反映内容		児童デイサービスを18歳未満まで拡充し、また、身体障害者デイサービス事業等の相互利用を可能とすることにより、障害児の日中活動や社会参加の場の整備・充実を図る。				

所 属	保健センター			17年度予算額	351,011	千円
事業名	予防接種事業			16年度予算額	315,939	千円
				差 引	35,072	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	麻疹予防接種接種率	90.0%	96.9%	予防接種法に基づき幼児・児童・生徒を対象に、ポリオ、三種混合、麻しん、風しん、二種混合、日本脳炎を、また高齢者を対象にインフルエンザの予防接種を実施し、感染症の発生及びまん延防止を図った。		
予算への反映内容		日本脳炎については、楠町との合併を機に、対象者の接種年齢を従来の「4歳から」を、国の予防接種ガイドラインによる標準接種年齢である「3歳から」に改める。これにより、新規対象者は3歳及び4歳が該当となる。				

所 属	保健センター			17年度予算額	30,049	千円
事業名	結核対策事業			16年度予算額	9,367	千円
				差 引	20,682	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	結核予防接種接種率(1歳まで)	91.0%	94.0%	結核予防法に基づき、市民の健康診断を実施するとともに、保健センターにおいて集団による予防接種を行った。		
予算への反映内容		結核予防法の改正により、BCGの接種時期を「生後6か月未満までに接種」に変更する。これにより、集団接種を個別接種に切り替える。				

所 属	同 和 課			17年度予算額	3,500	千円
事業名	人権のまちづくり事業			16年度予算額	1,676	千円
				差 引	1,824	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	隣保事業への参加者数	8,200人	8,512人	平成15年9月の隣保館運営審議会答申を踏まえて、人権のまちづくり事業モデル地区準備調査の新規事業を実施した。		
予算への反映内容		16年度においては人権のまちづくりモデル地区事業を進めており、17年度は各地区の状況に応じた人権のまちづくり事業の展開を図る。				

所 属	同 和 課			17年度予算額	7,959	千円
事業名	隣保事業			16年度予算額	7,732	千円
				差 引	227	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	隣保事業の見直し及び創設事業数	5事業	4事業	平成15年9月の隣保館運営審議会答申を踏まえて、地域リーダー養成講座、ホームページ作成等の新規事業を実施した。		
予算への反映内容		16年度においては福祉専門相談、カウンセリング研修、人権のまちづくりモデル地区事業等の新規事業を進めており、17年度は生活相談担当者研修の充実など事業内容を見直すとともに、隣保館デイサービス事業等の新規隣保事業を推進する。				

【商工農水部】

所 属	商工 課			17年度予算額	14,320	千円
事業名	新規産業創出事業			16年度予算額	13,324	千円
				差 引	996	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	新規産業創出事業補助 申請件数	15件	6件	申請件数は伸び悩んでおり、制度の見直しを 検討するとともに、大学との連携により中小 企業の新製品・新技術の開発につなげていき たい。		
予算への反映内容		産学連携調査委託事業を17年度から開始予定				

所 属	商工 課			17年度予算額	2,426	千円
事業名	商店街魅力アップチャレンジ事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	2,426	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	-	-	-	-		
予算への反映内容		新規事業。商店街のやる気のあるグループ・団体への支援事業の 見直し。商工業活性化支援事業も統合。				

所 属	農水振興 課			17年度予算額	3,684	千円
事業名	豊かな海づくり推進事業			16年度予算額	1,810	千円
				差 引	1,874	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	漁獲量(種苗放流分)	49,600kg	44,270kg	水産物の安定供給のために、各種水産資源 の確保、放流事業を実施し、つくり育てる漁業 の推進を図った。		
予算への反映内容		水産業の振興を図るため、アサリ等の種苗放流事業と併せて、新 たに漁場の水質浄化に向け、漁業関係者・NPO等の協働による試 験的な取り組みを行う。				

所 属	農水事業 課			17年度予算額	80,000	千円
事業名	肉牛肥育預託事業			16年度予算額	68,000	千円
				差 引	12,000	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	預託頭数	200頭	200頭	肉牛生産の安定を図り、食肉市場への入荷 頭数の増加に資するため、引き続き事業支援 を行う。		
予算への反映内容		肉牛の肥育経営には多大な経費が必要となるので、畜産農家が安 定経営できるよう支援するため、肥育した和牛を当市食肉市場に出 荷することを条件に資金貸付を拡充する。				

所 属	農水事業 課			17年度予算額	36,415	千円
事業名	市単土地改良事業			16年度予算額	23,000	千円
				差 引	13,415	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	基盤整備済面積	2,134.1ha	2,134.7ha	市単土地改良事業を実施し総合的に基盤整 備を行った。		
予算への反映内容		従来の農業振興地域内の用排水路及び施設の改修を計画的に実 施する。特に、四日市農業再生事業の一環として、下野地区におい て、総事業予算のうち5,000千円の小額予算でより効果の高い基 盤整備を行い、農地の集約と農業の担い手対策に寄与する。				

【環境部】

所 属	環境保全 課			17年度予算額	3,426	千円
事業名	地球温暖化対策事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	3,426	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	公共施設温室効果ガス (CO2換算)排出量	37,000 t	39,762 t	平成15年度は、市内外のごみ搬入量の増加により排出増加を余儀なくされたが、計測を開始した平成10年度に比べ約14%の削減となった。		
予算への反映内容		市域における温室効果ガスの排出実態を調査するとともに、市民、事業者等で組織された地球温暖化対策地域協議会の温室効果ガス排出抑制等の取組に対して必要な支援をしていく。				

所 属	環境保全 課			17年度予算額	2,317	千円
事業名	環境マネジメントシステム推進事業			16年度予算額	1,389	千円
				差 引	928	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	ISO目標達成率	8 / 9項目	9 / 9項目	県内のISO取得自治体と情報交換会を開催し、相互認証への可能性を議論するなど、新たな取り組みを行うことができた。		
予算への反映内容		楠町との合併により、両自治体の環境マネジメントシステムを統合する必要がある。合併後は、楠総合支所のみ新ISOシステムの一部門として位置付け、他の公共施設についてはISOの対象とする。				

所 属	生活環境 課			17年度予算額	95,400	千円
事業名	埋立処分場延命対策事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	95,400	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	埋立処分量	20,600トン	21,258トン	北部清掃工場の焼却灰を溶融処理し、リサイクルを行ったが、目標を達成することができなかった。平成16年10月からペットボトルを埋立から資源化することにより、更に埋立量の減量に取組む。		
予算への反映内容		埋立処分場の残余容量は少なくなっているが、新処分場の建設は費用と立地の面から困難である。埋立ごみの一部を三重県環境保全事業団に処理委託することにより、現処分場の延命を図る。				

【都市整備部】

所 属	都市計画 課			17年度予算額	2,400	千円
事業名	里山保全事業			16年度予算額	1,000	千円
				差 引	1,400	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	緑化事業参加団体数	30団体 (18年度)	27団体	花と緑いっぱい事業については、27団体が事業に参加し、内10団体が新規取り組み団体であった。緑の保全について市民と協働で取り組む仕組みづくりをするため、活動団体のヒアリング調査を行った。		
予算への反映内容		市民緑地制度を導入し、住民が主体となった里山保全活動を支援する。住民、地権者、行政の協働による開設整備を行い、維持管理を住民団体に委ねる。				

所 属	都市計画 課			17年度予算額	5,640	千円
事業名	駐車場整備計画見直し策定事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	5,640	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	土地利用を規制誘導するための制度整備	1制度 制定	1制度 制定	白地地域(市街化調整区域)の建築形態制限(容積率、建ぺい率)を定め、良好な住環境の維持を図った。		
予算への反映内容		平成5年度に概ね10年後の駐車場整備計画を策定したが、その後の経済情勢の変化に対応ができていないため、近鉄四日市駅周辺の市街地活性化にも影響を及ぼしている。このため、駐車場整備計画を見直し、駐車場附置義務条例を弾力的に運用できるよう見直しを行う。				

所 属	都市計画 課			17年度予算額	1,500	千円
事業名	新・住宅マスタープラン見直し事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	1,500	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	中部地区の世帯数	10,975 世帯	10,833 世帯	諏訪新道第3地区まちづくり協議会を立ち上げ、敷地共同化の構想案を策定し、新たな再開発マンションによるまちなか居住促進の足がかりを築いた。特定優良賃貸住宅、1団地16戸を供給した。融資制度は、市場の低金利が続いているため、他の金融機関へ流れ、少ない利用となった。		
予算への反映内容		平成12年度に策定した住宅マスタープランの中間見直しを、平成17、18年度の2ヶ年で行う。平成17年度は国勢調査、住宅・土地統計調査などのデータ整理を委託するとともに、庁内関係課による研究会を立ち上げる。				

【教育委員会】

所 属	学校教育 課			17年度予算額	5,430	千円
事業名	特別支援教育推進事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	5,430	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	市単講師による授業時間数 (コーディネーター配置 時間数)	33,390時 間 (1,800時 間)	35,131時 間 (-)	個に応じた教育の充実という業務の目的実現のため、新たに特別支援教育推進事業を開始する。		
予算への反映内容		特別支援教育推進のためコーディネーターを配置する				

所 属	指導 課			17年度予算額	15,600	千円
事業名	教育相談事業費			16年度予算額	6,698	千円
				差 引	8,902	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	カウンセラー等の配置 人数	30人	30人	教育相談は配置人数等を増やし、充実してきているものの、年々相談希望者が増加する中で、専門的な見地からの相談がより求められている。		
予算への反映内容		スクールカウンセラー、心の教室相談員の配置人数・派遣時間数を増加				

所 属	指導 課			17年度予算額	50,000	千円
事業名	学校図書館いきいき推進事業費			16年度予算額	0	千円
				差 引	50,000	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	司書配置校における図書貸出し冊数	司書未配置時より20%増	33%増	司書配置により、図書館環境が格段に整備されるとともに、図書紹介・読み聞かせの充実、いつも人がいる図書館の実現等で読書活動や学習活動の充実につながった。		
予算への反映内容		13名の司書を市内全小中学校に巡回派遣し、図書館整備やボランティアを導入した図書館運営を進める。				

所 属	生涯学習 課			17年度予算額	1,115	千円
事業名	青少年体験活動促進事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	1,115	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	青少年健全育成事業参加者数 (2桁業務コードの活動指標)	5,300人	5,784人	事業参加者数は増加し、当初目標を上回った。		
予算への反映内容		これまで教育委員会が主催してきた「青年ボランティア活動促進事業費」を見直し、市民団体が企画・実施する多様な青少年体験講座に対して助成するとともに、体験活動の普及を図る場としてその活動内容を発表する青少年体験フォーラムを開催する。				

所 属	博物館			17年度予算額	5,806	千円
事業名	利用者環境整備事業(一般管理)			16年度予算額	84	千円
				差 引	5,722	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	託児サービス実施回数・利用者数	40回・120人	25回・29人	若者に人気のアーティストを取り上げたプラネタリウムCDコンサート以外は利用は低調であった。託児を行う催しの選択の再検討が必要。		
予算への反映内容		16年度も利用の少ない託児は一旦休止する。新たな利用者環境整備として、アムスクエア駐車場の割引券販売、市民ギャラリーの設置等を行い、利用者層の拡大を図る。				

【消防本部】

所 属	総務 課			17年度予算額	1,000	千円
事業名	消防音楽隊活動事業			16年度予算額	0	千円
				差 引	1,000	千円
15年度 評価	指標	目標	実績	評価内容		
	演奏回数	-	-	平成14年度末をもって休止した消防音楽隊は市民からのニーズが高いことから平成17年度に復活させる。		
予算への反映内容		講師報償金及び消防職員以外の隊員の報償費を計上する。				

資 料 編

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	837,164			
2. 総 務 費	10,780,348	218,928	848,573	578,400
3. 民 生 費	23,199,068	6,754,387	2,563,568	
4. 衛 生 費	8,448,311	215,817	200,026	127,800
5. 労 働 費	73,863			
6. 農林水産業費	2,037,839		196,074	33,000
7. 商 工 費	2,253,786		10,621	
8. 土 木 費	19,185,463	1,344,117	38,719	2,251,000
9. 消 防 費	3,154,552	17,149	147,951	28,100
10. 教 育 費	10,486,096	790,567	41,307	2,186,100
11. 公 債 費	12,733,510	65,913		
12. 予 備 費	100,000			
計	93,290,000	9,406,878	4,046,839	5,204,400
歳入振替項目				3,578,100
総 計	93,290,000	9,406,878	4,046,839	8,782,500

財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一 般 財 源	一般財源投入率 (%)	
				本 年 度	前 年 度
使用料及び手数料	そ の 他	一 般 財 源			
	100	837,064	640,606	1.2	0.9
289,092	275,187	8,570,168	9,204,765	12.7	13.6
1,215	1,244,041	12,635,857	11,548,995	18.8	17.1
925,534	1,244,578	5,734,556	5,800,506	8.5	8.6
7,174	40,475	26,214	32,023	0.1	0.1
246	283,379	1,525,140	1,491,755	2.3	2.2
302	855,378	1,387,485	1,443,996	2.1	2.1
572,925	440,683	14,538,019	14,503,244	21.6	21.4
68,834	259,685	2,632,833	2,756,300	3.9	4.1
288,658	166,874	7,012,590	8,136,207	10.4	12.0
219,990	146,221	12,301,386	12,065,580	18.3	17.8
		100,000	92,400	0.1	0.1
2,373,970	4,956,601	67,301,312	67,716,377	100.0	100.0
	1,181,012	4,759,112	7,094,377		
2,373,970	6,137,613	62,542,200	60,622,000		

平成 17 年度 税 収 入 予 算 資 料

(単位 千円)

税目	課税標準額	税 率 %	調定見込額	収納見込率%	本年度予算計上額(A)	前年度予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
市税			53,313,628	94.5	50,395,300	48,305,000	104.3
1. 市民税			20,941,419	93.4	19,569,300	17,669,500	110.8
一個人			14,753,176	91.2	13,461,700	12,292,200	109.5
イ、現年度分	134,567(人)		13,470,884	98.0	13,201,400	12,031,200	109.7
所得割		標準税率	13,098,907	98.0	12,836,900	11,708,700	109.6
均等割		3,000、1,500(円)	371,977	98.0	364,500	322,500	113.0
ロ、繰越分			1,282,292	20.3	260,300	261,000	99.7
二法人			6,188,243	98.7	6,107,600	5,377,300	113.6
イ、現年度分	8,253(社)		6,102,417	99.8	6,090,100	5,358,200	113.7
法人税割		13.5、12.3	5,150,347	99.8	5,140,000	4,451,000	115.5
均等割		(万円) 5、12、13 15、16、40 41、175、300	952,070	99.8	950,100	907,200	104.7
ロ、繰越分			85,826	20.4	17,500	19,100	91.6
2. 固定資産税			27,034,088	95.0	25,691,100	25,511,700	100.7
一固定資産税			26,965,488	95.0	25,622,500	25,443,200	100.7
イ、現年度分			25,675,520	98.5	25,300,100	25,121,200	100.7
土地分	681,646,943	1.4	9,543,061	98.0	9,352,200	9,205,500	101.6
家屋分	632,645,015	1.4	8,857,034	98.0	8,679,800	8,082,200	107.4
償却資産分	519,673,214	1.4	7,275,425	99.9	7,268,100	7,833,500	92.8
ロ、繰越分			1,289,968	25.0	322,400	322,000	100.1
二国有資産等所在 市町村交付金 及び納付金			68,600	100.0	68,600	68,500	100.1
イ、現年度分			68,600	100.0	68,600	68,500	100.1
交付金	2,778,571	1.4	38,900	100.0	38,900	39,500	98.5
納付金	2,121,429	1.4	29,700	100.0	29,700	29,000	102.4
3. 軽自動車税			503,610	88.2	444,200	407,500	109.0
イ、現年度分	97,756(台)	1,000(円) ～7,200(円)	451,129	96.5	435,300	399,000	109.1
ロ、繰越分			52,481	17.0	8,900	8,500	104.7
4. 市たばこ税	688,719(千本) 6,390(千本)	2,977円/千本 1,412円/千本	2,054,100	100.0	2,054,100	2,057,000	99.9
5. 特別土地保有税			9,272	4.3	400	500	80.0
イ、現年度分		保有分 1.4% 取得分 3.0%	0		0	0	
ロ、繰越分			9,272	4.3	400	500	80.0
6. 入湯税	日帰り 6,250人 宿泊 0人	1人 80円 1人1泊 150円	500	100.0	500	500	100.0

(単位 千円)

税目	課税標準額	税率 %	調定見込額	収納見込率%	本年度予算計上額(A)	前年度予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
7. 都市計画税			2,770,639	95.1	2,635,700	2,658,300	99.1
イ、現年度分			2,643,677	98.5	2,604,000	2,625,200	99.2
土地分	766,379,577	0.2	1,532,759	98.5	1,509,800	1,568,100	96.3
家屋分	555,459,000	0.2	1,110,918	98.5	1,094,200	1,057,100	103.5
ロ、繰越分			126,962	25.0	31,700	33,100	95.8
地方譲与税			2,496,000	100.0	2,496,000	1,870,000	133.5
1. 所得譲与税			1,062,000	100.0	1,062,000	480,000	221.3
2. 自動車重量譲与税			832,000	100.0	832,000	800,000	104.0
3. 地方道路譲与税			282,000	100.0	282,000	270,000	104.4
4. 特別とん譲与税			320,000	100.0	320,000	320,000	100.0
利子割交付金			207,000	100.0	207,000	400,000	51.8
利子割交付金			207,000	100.0	207,000	400,000	51.8
配当割交付金			125,000	100.0	125,000	26,000	480.8
配当割交付金			125,000	100.0	125,000	26,000	480.8
株式等譲渡所得割交付金			16,000	100.0	16,000	15,000	106.7
株式等譲渡所得割交付金			16,000	100.0	16,000	15,000	106.7
地方消費税交付金			2,885,000	100.0	2,885,000	2,980,000	96.8
地方消費税交付金			2,885,000	100.0	2,885,000	2,980,000	96.8
ゴルフ場利用税交付金			90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金			90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
自動車取得税交付金			729,000	100.0	729,000	670,000	108.8
自動車取得税交付金			729,000	100.0	729,000	670,000	108.8
地方特例交付金			1,779,700	100.0	1,779,700	1,596,000	111.5
地方特例交付金			1,779,700	100.0	1,779,700	1,596,000	111.5

基金の状況

(単位:千円)

基金名	平成17年度末 残高見込	基金名	平成17年度末 残高見込
職員退職手当基金	2,073,351	広域基幹道路整備基金	953,605
桜運動広場整備基金	40,296	緑化基金	193,977
国際交流基金	113,382	市営住宅整備基金	243,047
財政調整基金	1,638,111	学校施設整備基金	372,670
都市基盤・公共施設等整備基金	313,384	小菅化学教育振興基金	27,796
減債基金	561,847	文化振興基金	227,382
まちづくり事業基金	330,000	土地開発基金	1,151,154
社会福祉事業振興基金	404,808	競輪事業財政調整基金	574,168
災害救助基金	113,504	国民健康保険支払準備基金	90,710
廃棄物処理施設整備基金	303,497	東橋北住環境整備基金	1
ふるさと・水と土保全基金	21,467	介護保険給付費支払準備基金	61,581
中小企業振興基金	17,318		

楠町合算分

市 税 等 の 推 移

年 度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
市 税	103.0%	102.4%	3472.7%	97.0%	100.6%
	51,690,121	52,933,096	55,983,052	54,319,396	54,651,840
	103.3%	98.6%	3263.7%	91.3%	97.2%
	15,707,284	15,487,308	17,547,601	16,023,051	15,576,141
うち個人市民税	102.8%	112.4%	3754.1%	90.7%	87.7%
	6,193,067	6,959,659	6,125,288	5,552,950	4,868,823
うち法人市民税	102.9%	102.0%	3246.1%	102.9%	104.6%
	24,805,729	25,306,992	26,762,052	27,539,521	28,816,683
うち固定資産税	101.5%	104.6%	3172.9%	68.7%	103.5%
	2,813,049	2,941,206	1,917,259	1,317,439	1,363,067
地方譲与税	64.8%	57.7%	3004.1%	77.8%	115.3%
利子割交付金	1,201,910	693,615	522,420	406,516	468,528
配当割交付金					
株式等譲渡所得割交付金					
地方消費税交付金			皆増	436.3%	92.9%
	0	0	762,966	3,328,940	3,093,121
ゴルフ場利用税交付金	101.8%	95.5%	97.6%	96.0%	100.7%
	117,774	112,515	109,853	105,505	106,263
特別地方消費税交付金	90.5%	95.4%	213.7%	99.7%	93.6%
	31,247	29,800	63,695	63,504	59,414
自動車取得税交付金	107.6%	103.5%	2461.2%	83.0%	97.9%
	1,042,427	1,078,636	982,000	815,316	798,108
地方特例交付金					皆増
	0	0	0	0	1,245,994
地 方 交 付 税	106.4%	108.7%	197.6%	106.8%	222.3%
	1,732,516	1,883,888	1,984,797	2,120,003	4,711,899
	104.2%	113.3%	100.0%	103.4%	376.6%
うち普通交付税	691,859	783,616	853,913	883,245	3,326,420
うち特別交付税	107.8%	105.7%	751.8%	109.4%	112.0%
	1,040,657	1,100,272	1,130,884	1,236,758	1,385,479

(決算ベース)

(単位 千円)

平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度 (12月補正後)	平成16年度 (決算見込)	平成17年度 (当初予算)
97.2%	98.5%	97.2%	98.6%	99.1%	99.6%	100.9%
53,104,170	52,310,758	50,839,465	50,133,200	49,662,664	49,956,698	50,395,300
95.2%	97.1%	98.7%	93.6%	95.1%	96.8%	104.6%
14,822,715	14,389,736	14,204,296	13,294,067	12,643,920	12,873,133	13,461,700
103.7%	104.9%	84.7%	122.2%	99.5%	104.5%	106.6%
5,051,204	5,296,663	4,487,950	5,485,014	5,459,054	5,729,696	6,107,600
96.6%	98.0%	98.6%	97.4%	100.6%	99.8%	98.2%
27,845,859	27,293,990	26,899,992	26,199,571	26,349,342	26,153,108	25,691,100
96.3%	105.9%	96.0%	104.9%	135.7%	140.3%	127.0%
1,312,385	1,389,423	1,334,308	1,400,068	1,900,406	1,964,603	2,496,000
464.0%	98.7%	28.8%	70.5%	94.9%	84.7%	56.2%
2,174,040	2,145,652	617,784	435,386	413,000	368,575	207,000
				皆増	皆増	151.0%
				26,900	82,802	125,000
				皆増	皆増	103.1%
				15,500	15,516	16,000
103.1%	92.7%	91.3%	107.4%	105.9%	108.6%	91.6%
3,189,836	2,955,812	2,699,183	2,900,256	3,070,000	3,148,842	2,885,000
103.9%	103.5%	95.2%	98.0%	84.4%	94.2%	89.6%
110,445	114,287	108,754	106,614	90,000	100,422	90,000
18.9%	17.6%					
11,207	1,978					
98.3%	94.4%	94.8%	107.2%	92.8%	102.8%	94.2%
784,199	740,568	701,758	752,335	698,000	773,666	729,000
136.3%	102.8%	96.6%	99.6%	101.4%	101.4%	104.4%
1,698,909	1,747,237	1,687,946	1,681,143	1,705,436	1,705,436	1,779,700
117.3%	95.3%	119.4%	94.7%	62.2%	62.2%	101.3%
5,526,255	5,267,926	6,290,170	5,954,225	3,700,739	3,700,739	3,747,600
122.0%	95.1%	128.1%	94.7%	57.1%	57.1%	103.2%
4,058,554	3,859,379	4,942,661	4,681,823	2,673,999	2,673,999	2,760,000
105.9%	96.0%	95.7%	94.4%	80.7%	80.7%	96.2%
1,467,701	1,408,547	1,347,509	1,272,402	1,026,740	1,026,740	987,600

上段は対前年度比

一 般 会 計 当 初

年度	一般会計		歳 入						
			市 税		地 方 交 付 税		市 債		繰 入
	伸び率	税率	普通	特別	発行額	市債依存度	3基金		
平成		%		%	実績	実績		%	
4	85,069,800	8.8	47,646,000	56.0	-	882,515	5,561,200	6.5	2,242,000
5	86,102,300	1.2	48,784,000	56.7	-	861,254	4,159,300	4.8	2,983,000
6	88,012,300	2.2	45,720,000	52.0	-	850,921	8,786,200	10.0	3,108,000
7	91,952,800	4.5	47,794,000	52.0	-	897,915	9,573,900	10.4	2,900,000
8	94,337,200	2.6	48,511,700	51.4	-	951,334	13,814,300	14.7	1,090,120
9	94,917,000	0.6	53,613,680	56.5	-	980,457	10,425,900	11.0	700,000
10	91,013,000	4.1	52,890,100	58.1	-	1,079,724	6,460,200	7.1	2,470,000
11	90,900,000	0.1	52,202,800	57.4	2,348,319	1,215,065	5,299,300	5.8	1,692,000
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2月専決後 1,959,554	2月専決後 980,000	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	2.8	50,395,300	54.0	2,760,000	987,600	8,782,500	9.4	180,000

予 算 の 推 移

(単位 :千円)

金 競 輪	歳 出						
	公 債 費	構成比	地方債年 度末残高	投 資 的 経 費		繰 出 金	
				補 助	単 独		
実績		%	実績				
1,500,000	6,942,526	8.2	54,855,872	22,589,016	5,171,686	17,247,513	7,409,346
1,500,000	7,106,655	8.3	59,616,712	20,750,541	5,640,637	14,953,681	8,159,289
300,000	7,366,140	8.4	68,139,476	20,857,103	6,233,614	14,473,851	8,544,711
0	7,499,239	8.2	76,704,095	22,571,833	6,917,095	15,511,417	8,671,542
50,000	7,889,890	8.4	89,283,768	23,714,303	6,947,530	16,729,274	8,907,190
20,000	8,815,769	9.3	99,938,335	22,358,602	4,789,663	17,539,125	9,254,338
50,000	9,759,014	10.7	105,489,490	16,663,239	4,384,578	12,234,355	9,736,790
50,000	10,322,312	11.4	106,062,498	13,739,059	5,857,512	7,827,935	10,218,412
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030
12月補正後			2月専決後				
300,000	18,557,091	19.3	106,593,613	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733
当初							
20,000	12,733,510	13.6	105,084,483	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305

楠町合算分

地方債年度末

年度		11決算	12決算	13決算	14決算	15決算
区分						
普通会計	一般会計	108,977,686	108,547,710	108,529,475	107,836,450	107,705,872
	うち減税補てん債	10,921,274	11,124,199	11,343,675	11,412,161	11,460,394
	うち臨時財政対策債			50,000	2,614,600	7,837,100
	うち借換債					
	特別					
	土地区画整理事業	3,791,790	3,931,702	4,259,555	4,450,693	4,321,225
	福祉資金貸付事業	103,851	103,851	103,851		
	住宅新築資金等貸付事業	520,330	457,363	395,765	327,917	266,454
	公共用地取得事業	530,370	504,700	1,291,456	3,087,312	3,913,568
	(都市下水路分)				323,900	375,200
計	113,924,027	113,545,326	114,580,102	116,026,273	116,582,320	
うち合併特例債 (基金造成含む)						
収益標準	競輪事業会計		250,000	250,000	225,300	175,700
公営企業	食肉センター 食肉市場事業	871,505	1,229,416	1,582,605	1,633,873	1,707,240
	公共下水道事業	98,759,560	101,230,232	102,811,495	3,120,096	3,244,177
	市営駐車場事業	399,852	304,553			
	農業集落排水事業	1,112,975	1,263,262	1,399,884	1,503,253	1,602,311
	計	101,143,892	104,027,463	105,793,984	6,257,222	6,553,728
公営企業	水道事業	21,367,398	21,666,665	22,082,458	22,094,408	21,891,518
	市立四日市病院事業	3,093,666	3,416,925	3,377,945	3,590,787	3,310,040
	下水道事業				100,789,253	101,392,179
	計	24,461,064	25,083,590	25,460,403	126,474,448	126,593,737
重複分					323,900	375,200
合計		239,528,983	242,906,379	246,084,489	248,659,343	249,530,285

現在高の推移

(単位 千円)

16見込	17当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
106,593,614	10,291,631	2,440,879	12,732,510	8,782,500	105,084,483
5,500,561	200,573	80,869	281,442	693,900	5,993,888
11,592,699	2,624	141,522	144,146	2,884,200	14,474,275
6,010,831	603,490	65,334	668,824		5,407,341
4,218,345	288,571	89,115	377,686	98,900	4,028,674

(会計廃止、14年度に全額償還済)

214,625	46,805	12,053	58,858		167,820
4,881,524	113,598	62,702	176,300	3,356,900	8,124,826
468,200		5,963	5,963	173,500	641,700
116,376,308	10,740,605	2,610,712	13,351,317	12,411,800	118,047,503
523,000		6,093	6,093	2,218,400	2,741,400
125,835	50,133	607	50,740		75,702
1,749,093	48,646	30,797	79,443	57,500	1,757,947

(14年度以降については、四日市市分は公営企業会計で計上)

(13年度以降については、一般会計に含む)

1,762,967	48,129	42,047	90,176	162,800	1,877,638
3,512,060	96,775	72,844	169,619	220,300	3,635,585
21,620,127	1,018,307	827,747	1,846,054	770,000	21,371,820
3,016,837	800,833	66,085	866,918	481,000	2,697,004
105,066,562	4,502,052	3,542,215	8,044,267	3,532,000	104,096,510
129,703,526	6,321,192	4,436,047	10,757,239	4,783,000	128,165,334
468,200		5,963	5,963	173,500	641,700
249,249,529	17,208,705	7,114,247	24,322,952	17,241,600	249,282,424

四日市市分

地方債年度末

区 分		年 度				
		11決算	12決算	13決算	14決算	15決算
普 通 会 計	一 般 会 計	106,062,498	105,427,282	105,328,737	104,684,936	104,476,960
	うち減税補てん債	10,549,181	10,749,050	10,964,461	11,035,191	11,088,146
	うち臨時財政対策債				2,403,000	7,263,700
	う ち 借 換 債					
	特 別 会 計					
	土地区画整理事業	3,791,790	3,931,702	4,259,555	4,450,693	4,321,225
	福祉資金貸付事業	103,851	103,851	103,851		
	住宅新築資金等貸付事業	520,330	457,363	395,765	327,917	266,454
	公共用地取得事業 (都市下水道分)	530,370	504,700	1,291,456	3,087,312	3,913,568
	計	111,008,839	110,424,898	111,379,364	112,874,759	113,353,408
うち合併特例債 (基金造成含む)						
収 益 準 公 営 企 業 公 営 企 業	競 輪 事 業 会 計		250,000	250,000	225,300	175,700
	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場 事 業	871,505	1,229,416	1,582,605	1,633,873	1,707,240
	公 共 下 水 道 事 業	96,377,169	98,596,419	99,929,696		
	市 営 駐 車 場 事 業	399,852	304,553			
	農 業 集 落 排 水 事 業	1,112,975	1,263,262	1,399,884	1,503,253	1,602,311
	計	98,761,501	101,393,650	102,912,185	3,137,126	3,309,551
	水 道 事 業	20,822,087	21,009,110	21,117,192	21,035,180	20,828,672
	市立四日市病院事業	3,093,666	3,416,925	3,377,945	3,590,787	3,310,040
	下 水 道 事 業				100,789,253	101,392,179
	計	23,915,753	24,426,035	24,495,137	125,415,220	125,530,891
	重複分				323,900	375,200
	合 計	233,686,093	236,494,583	239,036,686	241,328,505	241,994,350

現在高の推移

(決算額に楠町分を含まない)

(単位 千円)

16見込	17当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
106,593,614	10,291,631	2,440,879	12,732,510	8,782,500	105,084,483
5,500,561	200,573	80,869	281,442	693,900	5,993,888
11,592,699	2,624	141,522	144,146	2,884,200	14,474,275
6,010,831	603,490	65,334	668,824		5,407,341
4,218,345	288,571	89,115	377,686	98,900	4,028,674

(会計廃止、14年度に全額償還済)

214,625	46,805	12,053	58,858		167,820
4,881,524	113,598	62,702	176,300	3,356,900	8,124,826
468,200		5,963	5,963	173,500	641,700
116,376,308	10,740,605	2,610,712	13,351,317	12,411,800	118,047,503
523,000		6,093	6,093	2,218,400	2,741,400
125,835	50,133	607	50,740		75,702
1,749,093	48,646	30,797	79,443	57,500	1,757,947

(14年度以降については、四日市市分は公営企業会計で計上)

(13年度以降については、一般会計に含む)

1,762,967	48,129	42,047	90,176	162,800	1,877,638
3,512,060	96,775	72,844	169,619	220,300	3,635,585
21,620,127	1,018,307	827,747	1,846,054	770,000	21,371,820
3,016,837	800,833	66,085	866,918	481,000	2,697,004
105,066,562	4,502,052	3,542,215	8,044,267	3,532,000	104,096,510
129,703,526	6,321,192	4,436,047	10,757,239	4,783,000	128,165,334
468,200		5,963	5,963	173,500	641,700
249,249,529	17,208,705	7,114,247	24,322,952	17,241,600	249,282,424

歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一般財源(B)	予 算 額 (C)	一般財源(D)
1. 人 件 費	18,572,887	16,606,947	18,948,023	16,943,182
(1) 報 酬	882,089	872,323	455,059	445,133
(2) 基 本 給	8,880,312	7,757,015	8,730,111	7,599,180
(3) その他の手当	4,866,164	4,311,080	5,028,157	4,439,279
(4) 退 職 手 当	1,558,000	1,555,599	2,508,000	2,497,893
(5) 恩 給 退 職 年 金	15,602	15,602	17,642	17,642
(6) そ の 他	2,370,720	2,095,328	2,209,054	1,944,055
2. 物 件 費	12,861,033	9,978,408	12,336,860	9,731,793
3. 維 持 補 修 費	1,578,228	970,038	1,655,680	1,048,738
4. 扶 助 費	12,325,136	3,890,384	12,021,708	3,893,889
5. 補 助 費 等	12,422,807	11,247,523	12,571,894	11,413,436
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	1,630,891	503,155	1,995,220	485,759
7. 積 立 金	989,734	417,768	461,295	401,440
8. 繰 出 金	6,397,305	5,515,349	5,762,733	4,994,982
9. 公 債 費	12,733,510	12,301,386	18,557,091	12,065,580
10. 投 資 的 経 費	11,515,480	3,607,517	9,605,201	4,673,435
(1) 普 通 建 設 事 業	11,358,855	3,568,892	9,528,451	4,643,185
イ、補 助	3,504,972	148,523	2,007,201	324,675
ロ、単 独	7,853,883	3,420,369	7,521,250	4,318,510
(2) 災 害 復 旧 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	156,625	38,625	76,750	30,250
11. 一 部 事 務 組 合 負 担 金	2,162,837	2,162,837	1,971,743	1,971,743
12. 予 備 費	100,152	100,000	92,552	92,400
合 計	93,290,000	67,301,312	95,980,000	67,716,377

目的別分類表

(単位 千円)

比 較				構 成 比 率 (%)			
予 算 額		一 般 財 源		本 年 度		前 年 度	
(A) - (C)	(A)/(C)×100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D)×100 (%)	予 算 額	一般財源	予 算 額	一般財源
375,136	98.0	336,235	98.0	19.9	24.7	19.7	25.0
427,030	193.8	427,190	196.0	0.9	1.3	0.5	0.7
150,201	101.7	157,835	102.1	9.5	11.5	9.1	11.2
161,993	96.8	128,199	97.1	5.2	6.4	5.2	6.6
950,000	62.1	942,294	62.3	1.7	2.3	2.6	3.7
2,040	88.4	2,040	88.4	0.0	0.0	0.0	0.0
161,666	107.3	151,273	107.8	2.5	3.1	2.3	2.9
524,173	104.2	246,615	102.5	13.8	14.8	12.9	14.4
77,452	95.3	78,700	92.5	1.7	1.4	1.7	1.5
303,428	102.5	3,505	99.9	13.2	5.8	12.5	5.8
149,087	98.8	165,913	98.5	13.3	16.7	13.1	16.9
364,329	81.7	17,396	103.6	1.7	0.7	2.1	0.7
528,439	214.6	16,328	104.1	1.1	0.6	0.5	0.6
634,572	111.0	520,367	110.4	6.9	8.2	6.0	7.4
5,823,581	68.6	235,806	102.0	13.7	18.3	19.3	17.8
1,910,279	119.9	1,065,918	77.2	12.3	5.4	10.0	6.9
1,830,404	119.2	1,074,293	76.9	12.2	5.3	9.9	6.9
1,497,771	174.6	176,152	45.7	3.8	0.2	2.1	0.5
332,633	104.4	898,141	79.2	8.4	5.1	7.8	6.4
79,875	204.1	8,375	127.7	0.2	0.1	0.1	0.0
191,094	109.7	191,094	109.7	2.3	3.2	2.1	2.9
7,600	108.2	7,600	108.2	0.1	0.1	0.1	0.1
2,690,000	97.2	415,065	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0

構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

楠町合算分

歳出予算性質別目的別分類表

(単位 千円)

区 分	本年度	前年度	比 較	
			予 算 額	
	予 算 額 (A)	予 算 額 (B)	(A) - (B)	(A)/(B)×100 (%)
1. 人 件 費	18,572,887	19,880,408	1,307,521	93.4
2. 物 件 費	12,861,033	12,995,953	134,920	99.0
3. 維 持 補 修 費	1,578,228	1,693,871	115,643	93.2
4. 扶 助 費	12,325,136	12,234,422	90,714	100.7
5. 補 助 費 等	12,422,807	12,843,464	420,657	96.7
6. 投 資・出 資 金・貸 付 金	1,630,891	2,006,294	375,403	81.3
7. 積 立 金	989,734	515,488	474,246	192.0
8. 繰 出 金	6,397,305	6,231,482	165,823	102.7
9. 公 債 費	12,733,510	19,177,969	6,444,459	66.4
10. 投 資 的 経 費	11,515,480	10,596,363	919,117	108.7
(1) 普 通 建 設 事 業	11,358,855	10,517,101	841,754	108.0
イ、補 助	3,504,972	2,139,155	1,365,817	163.8
ロ、単 独	7,853,883	8,377,946	524,063	93.7
(2) 災 害 復 旧 事 業		1,000	1,000	皆減
イ、補 助				
ロ、単 独		1,000	1,000	皆減
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	156,625	78,262	78,363	200.1
11. 一 部 事 務 組 合 負 担 金	2,162,837	1,971,743	191,094	109.7
12. 予 備 費	100,152	139,192	39,040	72.0
合 計	93,290,000	100,286,649	6,996,649	93.0

平成17年度 防災対策事業(地震分)について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	新規	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
							国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一 般 会 計	総務費	総務管理費	防災対策課		地震防災対策推進計画事業	2,920				2,920	図上訓練、マニュアル作成
					木造住宅等耐震化促進事業	103,200	40,500			62,700	木造建築物及び避難所指定された集会所等の耐震診断及び耐震補強工事に対する補助金
					防災倉庫整備事業費	8,372				8,372	楠総合支所管内の4箇所への防災資機材等整備
					自主防災組織活性化事業	13,300				13,300	自主防災組織の連合化促進及び防災活動に対する補助
			文化課	新	文化会館耐震化事業	20,000				20,000	文化会館の耐震化実施設計
	民生費	身体障害者福祉費	障害福祉課	新	あさけワークス耐震補強事業	2,200				2,200	身体障害者通所授産施設(あさけワークス)の耐震補強工事
				新	障害者体育センター耐震補強事業	700				700	四日市市障害者体育センターの耐震診断
	工商費	工商費	工商課	新	勤労青少年ホーム施設整備事業	1,700				1,700	勤労青少年ホーム耐震補強工事設計業務
	土木費	道路橋梁費	道路整備課		橋梁耐震化事業	160,000		146,200		13,800	橋梁耐震化計画策定及び萱生跨線橋等の耐震補強等
		道路橋梁費	道路整備課	新	磯津橋橋梁整備事業	10,000		9,500		500	磯津橋補修詳細設計
		住宅費	市営住宅課		市営住宅の耐震補強事業	50,000	16,500	16,500	2,000	15,000	茂福市営住宅及び木造市営住宅等の耐震補強
	消防費	消防費	消防本部		耐震性を有する消防水利整備推進事業	71,700	58,756	9,900		3,044	耐震性貯水槽の整備
					自主防災組織関係経費	2,724				2,724	市民防災隊に対する研修、運営費補助金等
					市民防災隊ポンプ更新事業費	1,170	390			780	市民防災隊ポンプ2基の更新
	教育費	小中学校費	教育施設課		小中学校耐震補強整備事業	297,400	50,746	234,200		12,454	小中学校の校舎及び体育館の耐震補強(小学校校舎6校、体育館7校 中学校校舎4校、体育館等3校)
保健体育費		スポーツ課	新	中央緑地運動施設整備事業	288,000		273,600		14,400	中央緑地体育館の耐震補強	
一般会計小計						1,033,386	166,892	689,900	2,000	174,594	

平成 17 年度 防災対策事業（地震分）について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	新規	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
							国県支出金	地方債	その他	一般財源	
企業 会計			下水道部		下水道施設地震災害対策事業	30,000				30,000	水管橋、浄化センター、中継ポンプ場の耐震調査
			水道局		水道基幹施設耐震化事業	628,900		361,100	267,800		基幹水道施設(配水管、水管橋、配水池等)の耐震化
			市立病院		病院施設耐震対策事業	(新病棟増築・既設病棟等改修事業で実施)				都市ガス・液体酸素タンクなどの設備耐震補強	
合 計						1,692,286	166,892	1,051,000	269,800	204,594	

平成17年度 防災対策事業(地震以外分)について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
						国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計	総務費	総務管理費	防災対策課	防災システム事業費	23,476				23,476	災害情報提供事業等
				防災対策事業費	4,558				4,558	防災啓発、防災訓練等
	農林水産業費	農地費	農水事業課	農業用河川工作物応急対策事業費	2,625				2,625	羽津井堰補修事業(県営事業)に対する負担金、H17は測量試験
				農地防災事業費	3,400			170	3,230	溜池改良工事及び維持管理工事等
	土木費	河川費	公園・河川課	準用河川等改修事業費	114,000	38,000	72,200		3,800	米洗川、朝明新川、萱生川の護岸整備事業等
				河川等改良事業費	278,198		255,800		22,398	河川改修事業、排水路改良事業、排水対策事業(十四川雨水貯留池)
				急傾斜地崩壊対策事業費	2,000			1,000	1,000	東日野地区の県営事業費に対する負担金
	消防費	消防費	防災対策課	水防事業費	13,475				13,475	水防設備、活動事業費
			消防本部	消防車両整備事業費	87,700	64,997	18,200		4,503	高規格救急車(中署、西分署)、普通消防車(神前分団)等消防車両の整備
				消防活動用機器整備事業費	41,100	40,957			143	消防ホース、大容量泡放射砲、沿岸防災救助ボート等消防活動資材等の整備
小計					570,532	143,954	346,200	1,170	79,208	
企業会計			下水道部	下水道整備事業費	2,879,280	1,171,462	1,426,500		281,318	雨水幹線、ポンプ場施設増設、設備更新
	小計					2,879,280	1,171,462	1,426,500	0	281,318
合計					3,449,812	1,315,416	1,772,700	1,170	360,526	

平成 17 年 度 バ リ ア フ リ ー 化 事 業 に つ い て

(単位:千円)

款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
					国県支税金	地方債	その他	一般財源	
総務費	総務管理費	市民生活課	地区市民センター整備事業費	9,900				9,900	洋式トイレの設置(22センター)
民生費	社会福祉費	障害福祉課	福祉環境整備事業費	3,233				3,233	点字ブロック工事、駅のバリアフリー化工事補助
衛生費	保健衛生費	生活環境課	墓地整備事業費	300				300	北大谷霊園階段手すり設置
土木費	交通安全対策費	道路整備課	交通安全施設整備補助事業費	50,000	27,500			22,500	堀木日永線、赤堀末永線バリアフリー化
	都市計画費	公園・河川課	公園緑地活性化推進事業費	2,500				2,500	公園のバリアフリー化など
教育費	小学校費	教育施設課	バリアフリー化施設整備費	112,900		111,300		1,600	桜台、三重北、川島、県、楠小学校
	中学校費		バリアフリー化施設整備費	50,600		49,900		700	羽津、大池中学校
合 計				229,433	27,500	161,200	0	40,733	

平成17年度 災害時要援護者対策事業について

(単位 千円)

款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
					国県支出金	地方債	その他	一般財源	
民生費	社会福祉費	障害福祉課	重度心身障害者日常生活用具給付事業	24,800	12,400			12,400	聴覚障害者には、FAX・文字放送デコーダ等、重度障害者と知的障害Aには火災報知器・自動消火器等を給付
			重度心身障害児日常生活用具給付事業	1,500	750			750	聴覚障害児に文字放送デコーダ等を給付
			ガイドヘルパー派遣事業	5,416	4,858		276	282	重度の視覚障害者、全身性障害者の外出を支援
			手話通訳者派遣事業	3,639	2,426			1,213	聴覚障害者に手話通訳者を派遣し、コミュニケーション支援
			身体障害者福祉機器等購入費補助事業	700				700	日常生活用具の給付品目でない福祉機器等の購入費を補助。聴覚障害者に「見えるラジオ」等
			障害者福祉電話貸与事業	449				449	難聴者や外出困難な身体障害者に緊急連絡等の手段として福祉電話を貸与
			緊急通報装置貸与事業	147	110			37	一人暮らしの重度障害者に緊急連絡用の通報装置を貸与
		介護・高齢福祉課	高齢者福祉電話貸与事業	18,077				18,077	ひとり暮らし高齢者等で、心臓病等で突発的に助けが必要な人に、福祉電話を貸与する。
			高齢者日常生活用具給付事業	1,300	866			434	ひとり暮らし高齢者等の火災の早期発見を図る。簡易火災報知機の給付。事業費の額は電磁調理器等給付分を含む
合 計				56,028	21,410		276	34,342	

災害時要援護者対策については、災害が起こった場合に対応可能なものを掲載した。予算額は全体事業費で計上している。(災害時要援護者対策のみの予算計上は無し)

平成17年度 子育て関係事業について

一般事業

(単位 千円)

款	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
総務費	ファミリーサポートセンター事業	7,612	1,895			5,717	育児の援助を行う者と受けたい者の相互援助グループによる育児と仕事の援助活動
8 民生費	乳幼児医療費	266,869	130,488			136,381	4歳未満児の医療費及び就学前児童の入院費の保険診療の自己負担分を補助
	一人親家庭等医療費	112,237	55,885			56,352	一人親家庭等の父母及び18歳以後最初の3月31日までの児童の保険診療の自己負担分を補助
	不妊治療費	17,000				17,000	不妊治療に係る医療費の一部助成
	児童手当	1,605,700	1,390,981			214,719	・対象 小学校第3学年修了前の児童 ・手当額 第1、2子 5,000円、第3子以降 10,000円/月
	児童扶養手当	977,800	733,350			244,450	・対象 母子家庭等の18歳以後最初の3月31日までの児童 ・手当額 41,880円～9,880円
	家庭児童相談経費	830				830	電話や面接で子どもとその家族に関するあらゆる相談に応じる
	児童虐待防止対策事業費	1,682				1,682	虐待の早期発見、対応、未然防止に向けて、定期的に連絡会議を開催するなど、ネットワーク事業を実施する
	次世代育成支援行動計画推進事業	1,475				1,475	「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次代を担う子どもを育成する環境を整備する行動計画の推進
	病児保育室管理運営費	14,169	5,658		1,121	7,390	病気回復期の児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する
	子育て支援ショートステイ事業費	400	235		86	79	保護者が疾病や出産などで養育が困難になった場合に、一時的に児童福祉施設にて預かる。
	子育て支援センター管理運営費	1,639				1,639	橋北子育て支援センターの管理経費
	子育て支援センター事業費	1,116				1,116	橋北子育て支援センター事業費、笹川、大矢知、海蔵保育園での子育て相談や遊ぼう会の実施
	地域子育て支援センター事業費補助金	15,744	10,496			5,248	子育て家庭の支援活動のための職員配置等への補助 私立園2、医療機関2
	母子福祉センター管理経費	4,398				4,398	母子家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進する
	母子生活支援施設事務費事業費	54,200	40,587		83	13,530	母子家庭の施設措置費
	母子生活支援施設保育機能強化事業	1,890	1,417			473	保護者の就職活動等の支援のため、菜の花苑の保育室に保育士を配置し、母子家庭等の児童を預かる
児童館自主事業費	1,217				1,217	児童館事業の啓発、移動児童館事業の実施、児童館主催事業及び日常活動費	
衛生費	妊産婦乳幼児保健指導事業費	4,736				4,736	育児学級、育児相談、訪問指導等を実施

平成17年度 子育て関係事業について

款	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
88 教育費	私立幼稚園保育料補助金	19,096				19,096	3歳から5歳児対象・6200円/年(3歳はより拡充)
	子育て支援運営費補助金	2,548				2,548	地域住民が実施する未就園児の子育て支援事業への補助、下野、富洲原、+1地区(未確定)
	子育て支援活動費	1,137				1,137	公立幼稚園における園開放や相談(未就園児と保護者対象)
	適応指導教室事業費	4,632			359	4,273	不登校児童・生徒の学校復帰をめざした適応指導教室開催
	第2適応指導教室事業費	4,012				4,012	勤労青少年ホームでより実施
	不登校児童生徒ボランティア事業費	940				940	大学生のボランティア等による不登校児童生徒の家庭訪問
	私立幼稚園就園奨励費補助金	153,482	42,974			110,508	私立幼稚園が行う減免措置に対する補助
	青少年問題研修費	86				86	複雑化する青少年問題について、専門性豊かな講師を招き現場活動に役立てるための研修の機会とする
	青少年相談員研修費	442				442	青少年相談員の相談活動が充実するための研修会を開催する
	青少年指導者・育成者研修費	55				55	青少年関係団体の指導者及び育成者を対象に団体活動が充実するための研修会を開催する
	青年リーダー研修費	596				596	子ども会活動にかかわる中高生リーダー養成講習会を開催する
	子ども緊急避難所設置推進事業費	250				250	子どもを誘拐・痴漢等の被害から守る「こどもをまもるいえ」の地域団体による設置を促進する
	子どもと若者の居場所づくり事業費	3,383				3,383	青少年健全育成と非行防止を更に進めるために、主に中高生を対象とした居場所づくり事業を推進する
	青少年体験活動促進事業費	1,115				1,115	市民団体が企画・実施する青少年体験活動講座に対して助成するとともに、その成果発表の場としてフォーラムを開催する。
	学童保育事業費補助金	62,669	35,092			27,577	運営委員会が設置・運営する学童保育所の運営等に対して補助を行う
	子ども広場整備費補助金	5,417				5,417	自治会等が設置・管理する子ども広場の整備に対して補助を行う
	子どもの読書活動推進事業費	300				300	子どもにとって本が身近になるような環境整備を市民との協働により進める
小 計		3,350,874	2,449,058	0	1,649	900,167	

平成17年度 子育て関係事業について

保育所関係事業

(単位 千円)

款	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
民生費	保育所事務事業費(児童一般分)	1,376,100	539,601		459,654	376,845	民間保育園の措置費
	保育所事務事業費(市単民間施設)	79,357	7,547			71,810	3歳未満児の保育機能強化のため、児童数に応じて加算
	私立保育所運営費補助金	28,916				28,916	正規職員の給与改善及び、研修経費の一部補助
	民間保育所園児健康診断補助金	7,500				7,500	園児の健康診断費用に対する補助
	民間保育所障害児保育事業費	3,736	978			2,758	重度・中度障害児数に応じて補助
	民間保育所乳児保育等事業費補助	14,119	6,024			8,095	年度内の乳児数の変動に対し、乳児担当保育士の確保のための補助。国の制度縮小のためH16から市単補助を追加
	民間保育所延長保育事業費補助金	82,581	53,074			29,507	実施園 公立1園(中央)、私立13園
	民間保育所一時保育事業費補助金	8,010	5,340			2,670	実施園 公立2園(橋北、楠南)、私立3園
	民間保育所特定保育事業費補助金	5,376	2,016		2,688	672	3歳未満児を対象に週に2、3日の保育 実施園 公立2園(橋北、楠南)、私立3園
	私立保育所地域活動事業費	4,250	2,833			1,417	地域の実情に応じた保育事業に対して補助
	家庭支援推進保育事業費補助金	2,410	900			1,510	人権保育事業の推進のための補助
	子育て支援推進保育事業費補助金	2,000	1,000			1,000	認可外保育施設に対する補助
	認可外保育施設職員健康診断料補助金	420	280			140	職員健康診断費用に対する補助
	保育所地域交流事業費	7,500	5,000			2,500	家庭、幼稚園、小中学校、老人会、子ども会等と連携を図り、地域の子育てネットワークをつくる
小計	1,622,275	624,593	0	462,342	535,340		
合計	4,973,149	3,073,651	0	463,991	1,435,507		